取扱説明書

ビクター液晶ワイドテレビ

型名 **LT-23LA5**
LT-17LA5

⚠ご使用の前に**安全上のご注意**
（4～8ページ）を必ずお読みください。

はじめに
準備する
ふだんの使い方
いろいろな機能で楽しむ
他の機器をつなぐ
こまったときは

EXE（エグゼ）

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

5030057075

もくじ

各章の詳しいもくじは章扉をご覧ください。

この取扱説明書について

- 主にリモコンのボタンを使って説明しています。
- イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。
- イラストは主にLT-17LA5のものを使用しています。外観などはLT-23LA5とは多少異なります。

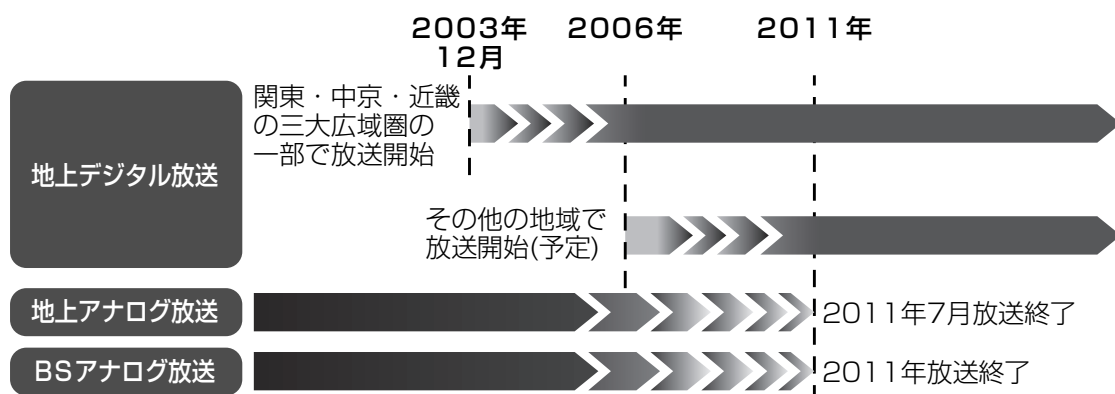
デジタル放送を受信するには

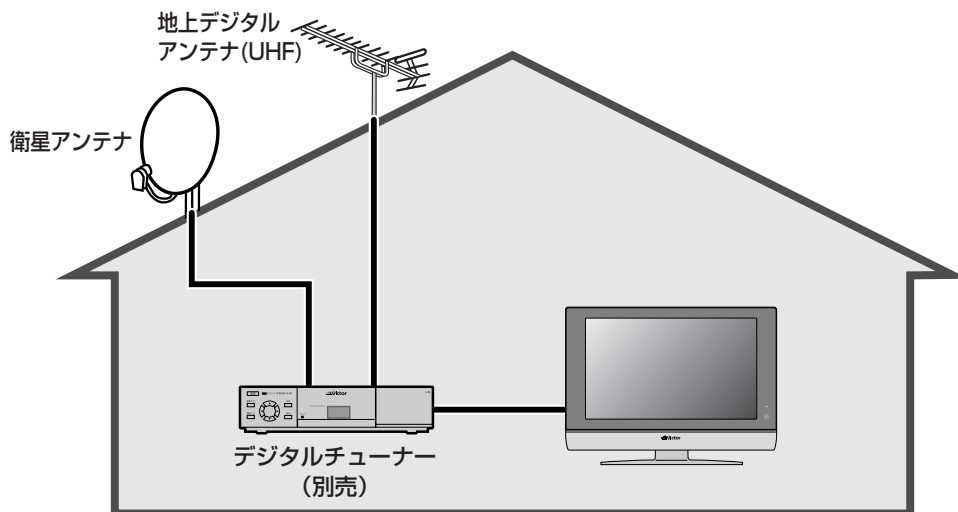
別売のデジタルチューナー(TU-MDS50など)とアンテナを接続すると、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

お知らせ
- 本機のD映像端子*はD2映像端子です。対応信号は525i*と525p*です。(*「用語解説」☞59ページ)
- 本機の内蔵チューナーは地上アナログ放送用です。
- デジタルチューナーの接続については49ページをご覧ください。

デジタル放送への移行スケジュール

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

デジタル放送をご覧になるには

別売のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や縦横比(アスペクト比)はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

安全上のご注意

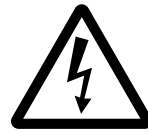
本体およびACアダプターをご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。	この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意	指をはさまれないように注意	感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

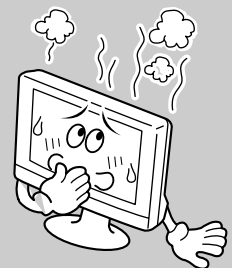
禁止	水場での使用禁止	ぬれ手禁止	分解禁止	接触禁止	水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

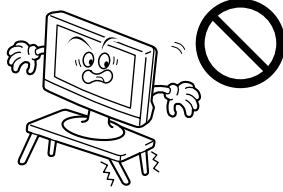
プラグをコンセントから抜く

⚠ 警告 万一、次のような異常が発生したときは

●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●本機の内部に水や物が入ってしまったとき。
●本機を落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

⚠警告 設置するときの警告

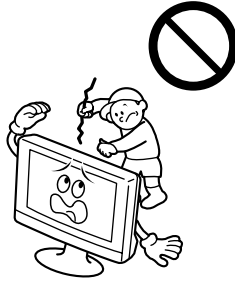
不安定な場所に置かない

ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

指定の電源電圧以外で使用しない

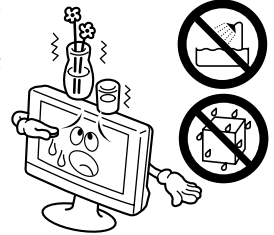
付属のACアダプターに表示された電源電圧以外では使用しないでください。また付属以外のACアダプター、電源コードをご使用にならないでください。火災・感電の原因となります。

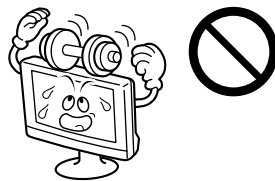
警告 使用するときの警告

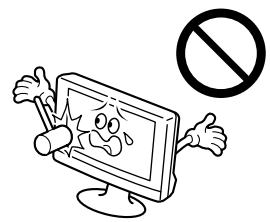
内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

水をかけない

屋外や風呂場など水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、上や近くに置かないでください。

上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

衝撃を与えない

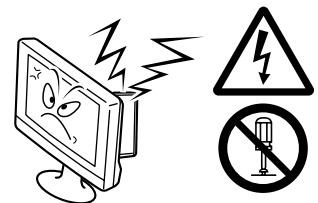
ディスプレイの前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには、絶対に衝撃を加えないでください。

改造しない

火災・感電の原因となります。

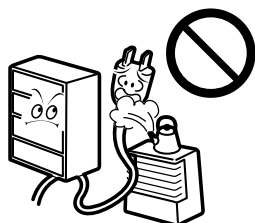
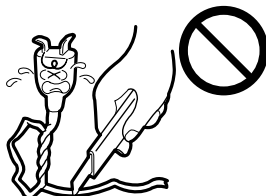
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

分解しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

警告 使用するときの警告

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

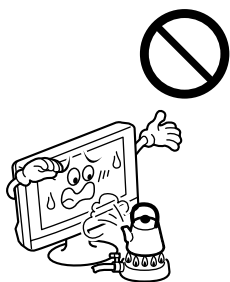
接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。最後までしっかりと接続してください。

電源コードと AC アダプター、および AC アダプターと本体もしっかりと接続してください。

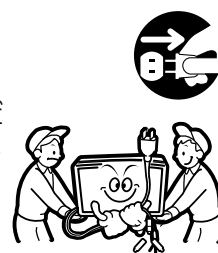
注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやパネルが変質することがあります。

移動するときは接続コード類をはずす

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

また、本機は質量が重く奥行きがなくて不安定なため、開梱や持ち運び、設置は二人以上で行ってください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 壁や家具などから 10cm 以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

直射日光にあてない

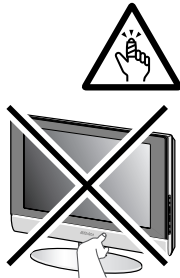
直射日光や熱器具の近くに置くと、液晶パネルやキャビネット、部品に悪い影響を与えますので近くに置かないようご注意ください。

付属の電源コードおよびACアダプター以外を使用しない

性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。

⚠注意 設置するときの注意

本体パネルの下部を持って前後に傾けない

テレビの画面を前後に傾けるときは、本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

⚠注意 使用するときの注意

付属の電源コードおよびACアダプターを他の機器に使用しない

火災・感電の原因となることがあります。

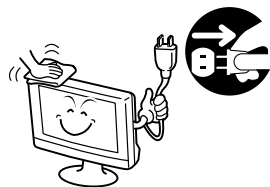
お手入れをするときは電源コードを抜く

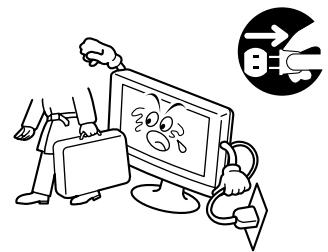
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

電源プラグのホコリに注意する

電源プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

音が歪んだ状態で使用しない

長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

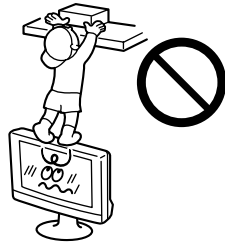
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

⚠注意 使用するときの注意

乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。
（角度調整の範囲：前方５度、後方１０度 左右各２０度以内）

⚠注意 その他の注意

1年に1度は本機内部の掃除を販売店に依頼する

内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

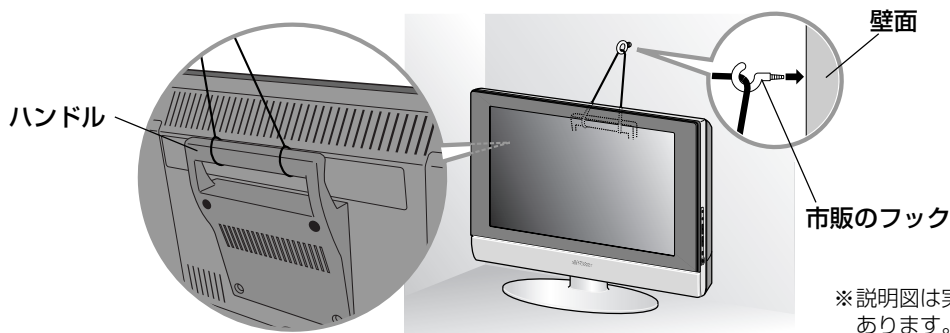
乾電池の使いかたに注意する

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる
- 指定された電池以外は使わない

転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。

- 本体後面のハンドルに市販の丈夫なひもなどを取り付け、壁面や柱など堅牢部に固定してください。

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

液晶テレビをご使用になる前に

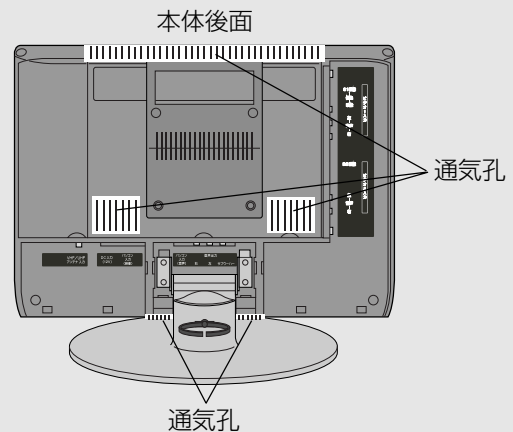
輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

お手入れのしかた

- **キャビネットやパネルのよごれは**
  柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
  – シンナーやベンジンでふかない
  – 殺虫剤など揮発性のものをかけない
  – ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

- **画面のよごれは**
  画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。
  – 画面にのりやテープなどを貼らない
  – 画面にペンなどで書き込みをしない
  – 画面を硬いものにぶつけない
  – 画面を結露させない
  – 画面をアルコール・シンナー・ベンジンなどの溶剤などでふかない
  – 画面を強くこすらない
  画面の汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行ってください。

- **通気孔に付着したほこりは**
  本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔（右のイラスト参照）にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

イラストはLT-17LA5です。

液晶テレビをご覧になるときは

- **やや離れてご覧ください**
  画面のたての長さの5～7倍をめやすにした場所でご覧ください。見やすく、疲れにくくなります。
- **部屋の明るさは新聞が楽に読める程度に…**
  暗すぎる部屋でご覧になると目に負担がかかります。適度な明るさの中でご覧ください。
  また、連続して長い時間、画面を見ていることも目に負担をかけます。ときどき目を休めてください。
- **夜間の音量は適度に…**
  周辺の人の迷惑にならないよう適度な音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めるなどの隣り近所への配慮（思いやり）を十分にし、生活環境を守りましょう。

各部のなまえ

リモコン

1 **消音ボタン** ☞30ページ
急いで音を消すときに使います。

2 **チャンネル数字ボタン**
チャンネルを選ぶときに使います。

3 **画面サイズ選択ボタン** ☞39ページ
画面サイズを変えるときに使います。

4 **映像選択ボタン** ☞34ページ
画質を切り換えるときに使います。

5 **入力切換ボタン** ☞54ページ
接続している外部機器の映像を見るときに使います。くり返し押して、ご覧になりたい外部入力を選びます。

6 **カーソル(◀▶▼▲)ボタン/決定ボタン**
メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。

7 **画面表示ボタン** ☞31、54ページ
チャンネル番号や外部入力名を表示させるときに使います。

8 **チャンネル+/−ボタン** ☞31ページ
チャンネルを順番に変えるときに使います。

9 **パソコン子画面ボタン(子画面、位置、サイズ、音声)** ☞53ページ
パソコン入力の映像を表示中、テレビの子画面を操作するときに使います。

ビデオ/DVD操作ボタン(∧、◀◀、▶、▶▶、∨、●、■、❚❚、トップメニュー)
☞47、48ページ
ビクター製のビデオデッキやDVDプレーヤーを操作するときに使います。

10 **電源ボタン** ☞18、30ページ
電源を「入/切」します。

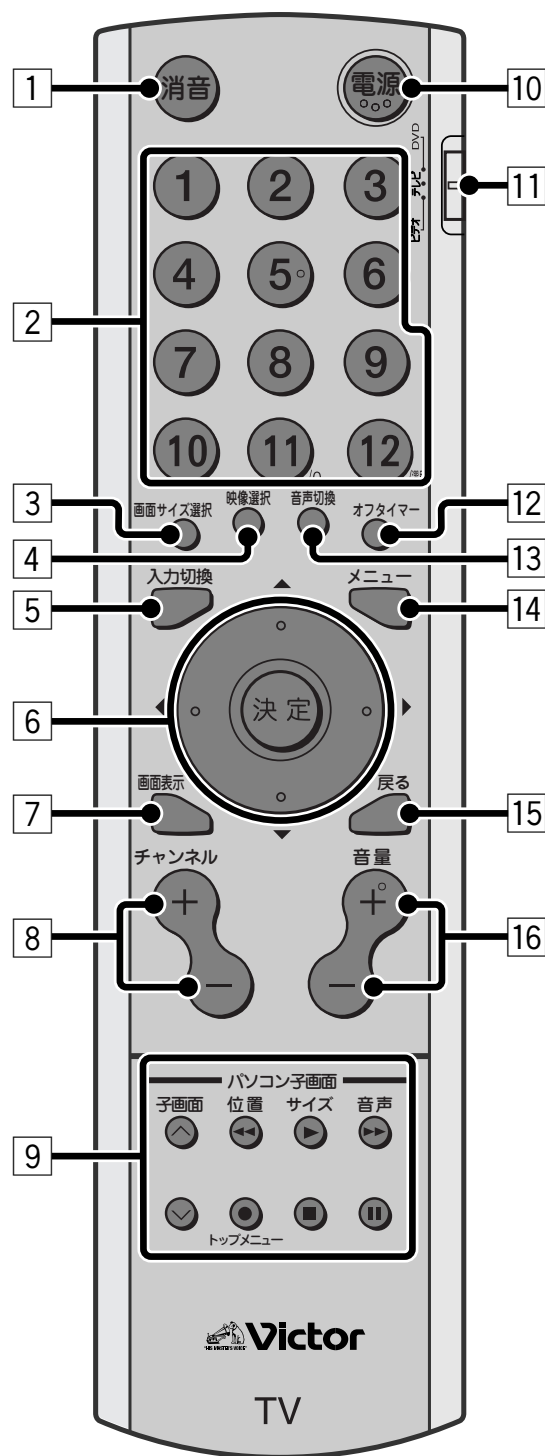
11 **ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチ**
☞18、19、30、47、48、54ページ
リモコンで操作したい機器に合わせて切り換えます。

12 **オフタイマーボタン** ☞32ページ
一定時間後に電源を切りたいときに使います。

13 **音声切換ボタン** ☞36ページ
複数の音声が放送されている番組で音声を選ぶときに使います。

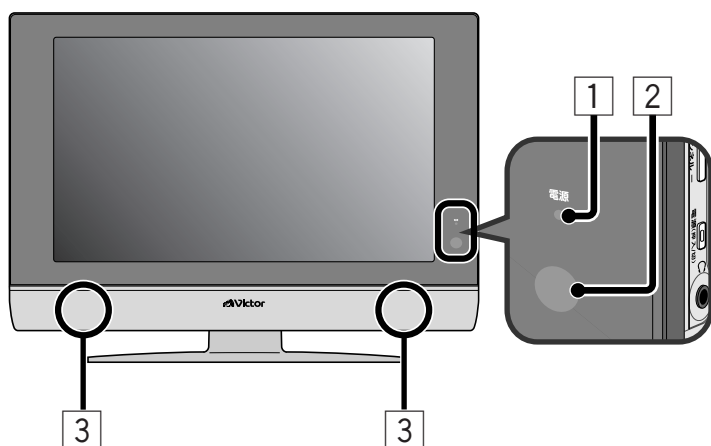
14 **メニューボタン**
メニューを表示します。

15 **戻るボタン**
一つ前のメニュー画面に戻るときなどに使います。

16 **音量+/−ボタン** ☞30ページ
音量を調節するときに使います。

リモコンを使うときは

- リモコン受光部やリモコンの発信部に明るい光があたっていたり、途中に障害物があって信号をさえぎられていると動作しません。
- リモコンの操作は、ゆっくりと確実に行ってください。

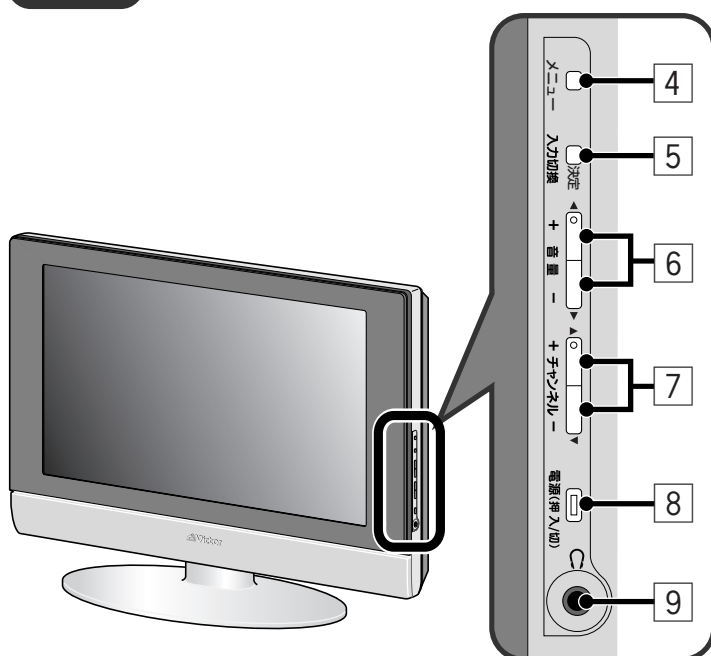
本体

前面

1 **電源ランプ** ☞18、30ページ
スタンバイ状態[1]:　赤色で点灯
電源 が「入」のとき:　緑色で点灯
パソコン待機時:　橙色で点灯
主電源が「切」のとき[2]:無点灯

1) リモコンや本体の電源ボタンで電源を切ったとき
2) 電源プラグやACアダプターが接続されていないとき

2 **リモコン受光部**
リモコンを操作するときは、リモコンの送信部をここに向けます。

3 **スピーカー**

側面

4 **メニューボタン**
メニューを表示します。

5 **入力切換ボタン** ☞54ページ
接続している外部機器の映像を見るときに使います。くり返し押して、ご覧になりたい外部入力を選びます。

決定ボタン
メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。

6 **音量+/−ボタン** ☞30ページ
音量を調節するときに使います。

カーソル(◀▶)ボタン
メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。

7 **チャンネル+/−ボタン** ☞31ページ
チャンネルを順番に変えるときに使います。

カーソル(▲▼)ボタン
メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。

8 **電源ボタン** ☞18、30ページ
本機の電源を「入/切」します。

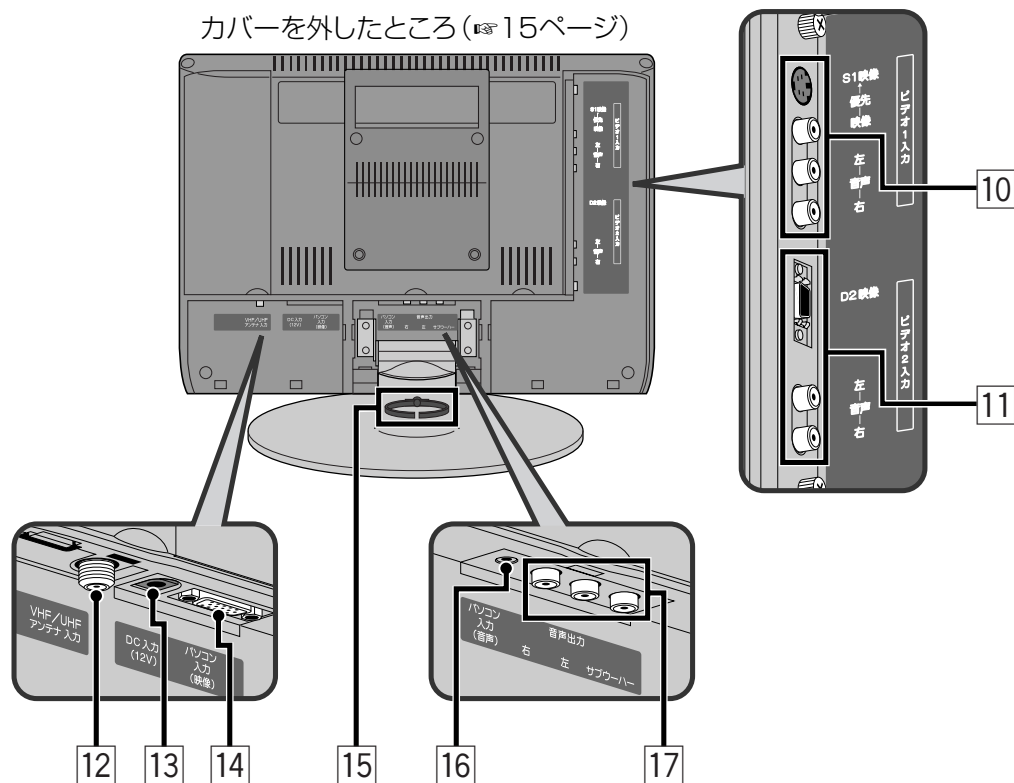
9 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。
• ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音が消えます。

本体（つづき）

後面

お知らせ

「接続できる機器」（☞44ページ）もご覧ください。

カバーを外したところ（☞15ページ）

10 **ビデオ1入力端子** ☞46、47ページ
ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

11 **ビデオ2入力端子** ☞46、48、49ページ
デジタルチューナーやDVDプレーヤーなどのD映像・音声出力端子をつなぎます。
- 本機のD映像端子はD2映像端子です。（☞59ページ）

12 **VHF/UHFアンテナ入力端子** ☞16ページ
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

13 **DC入力端子（LT-23LA5: 24V、LT-17LA5: 12V）**☞18ページ
付属のACアダプターをつなぎます。

14 **パソコン入力（映像）端子** ☞50ページ
パソコンの映像出力端子（D-SUB15ピン）をつなぎます。

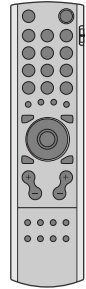
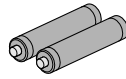
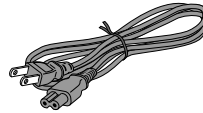
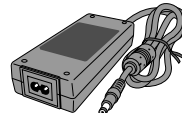
15 **コードホルダー** ☞18ページ
アンテナケーブルや映像・音声コードなどをここに通してまとめます。

16 **パソコン入力（音声）端子** ☞50ページ
パソコンの音声出力端子をつなぎます。

17 **音声出力端子** ☞49ページ
AVアンプやサブウーハーなどの音声入力端子を接続します。ご覧の映像の音声を出力します。

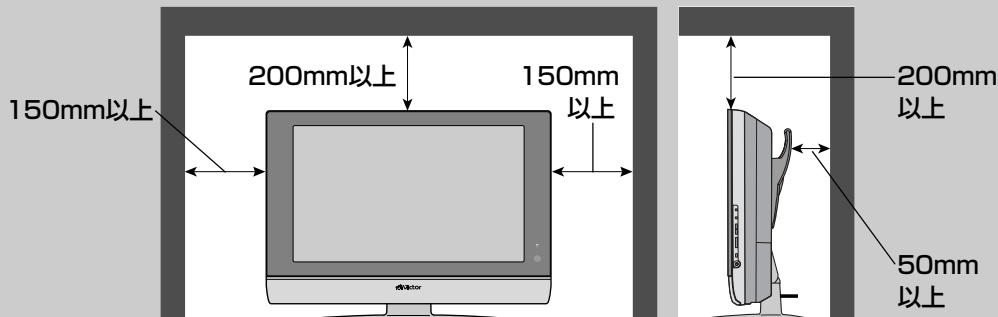
準備する

1 付属品を確かめる

付属品を確認してください。万一、不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。

2 設置する

直射日光が当たらない、風通しのよい場所を選んでください。
壁に掛けてご使用になるときの設置、据え付けは工事専門業者に依頼してください。

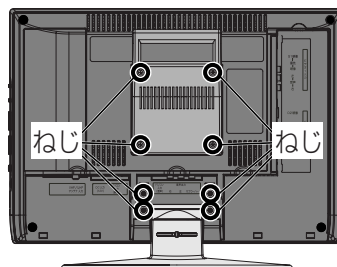
設置するときは

- 電源コードや接続コードは引っかからないように本体後面でたばね、壁、床などの隅に配置してください。
- 本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。また、電源プラグの抜き差しが容易にできる空間を設けてください。
- 設置場所によっては、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。影響のでない場所に設置してください。
- 放熱をよくするため周囲には下図の空間距離を保つようにしてください。
  本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。
詳しくは8ページをご覧ください。

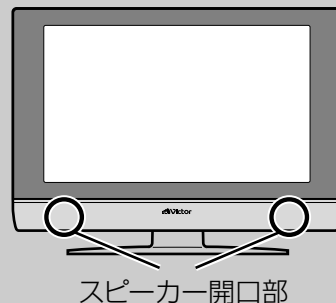
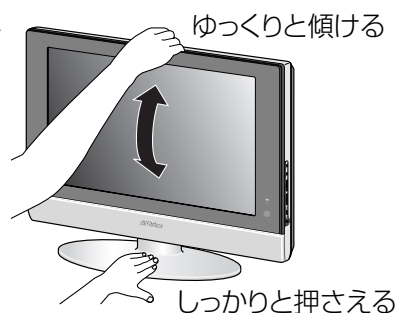
壁に掛けてご使用になるときは

プラスドライバーでねじを外して、ハンドルとスタンドを取り外してください。

- 壁掛け金具はVESA規格のものをご使用ください。

ハンドルとスタンドを取り外すときは、画面の保護用にシートを敷いた台などの上に、本体を伏せた状態で行ってください。

画面の角度を調節するときは

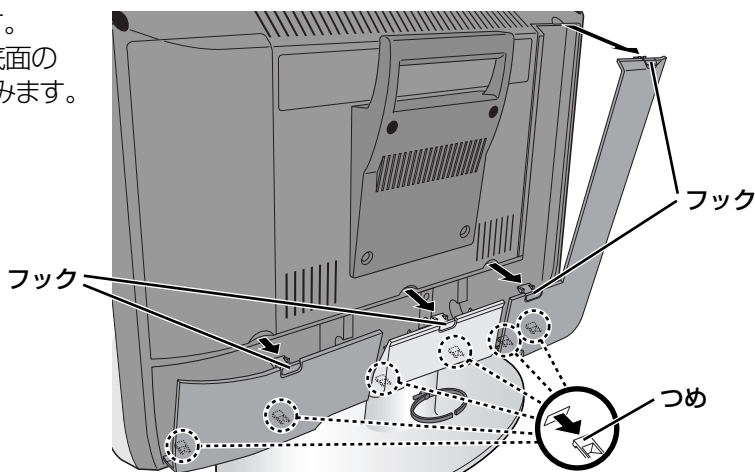
LT-17LA5をお使いの場合:
スタンドの台座をしっかりと片手で押さえながら、もう一方の手で本体パネル部分の上部中央を持ち、ゆっくりと傾けてください。(前方5度、後方10度、左右各20度以内で調整できます。)
- スタンドの台座をしっかりと押さえずに傾けると、テレビが転倒して落下やけがの原因となることがあります。
- スタンドの台座を押さえるときは、手をはさまないように、台座の中央手前を押さえてください。

**画面を傾けるときや、本体を移動するときは、本体下部のスピーカー開口部付近を直接強く押さえないでください。
表面の化粧シートが変形することがあります。**

LT-23LA5をお使いの場合:
スタンドの台座をしっかりと片手で押さえながら、もう一方の手で本体パネル部分の上部中央を持ち、ゆっくりと傾けてください。(前方5度、後方10度、左右各20度以内で調整できます。)
- スタンドの台座をしっかりと押さえずに傾けると、テレビが転倒して落下やけがの原因となることがあります。

3 アンテナをつなぐ

より良い映像で放送をご覧いただくために、アンテナを接続するときは以下のことにご注意ください。

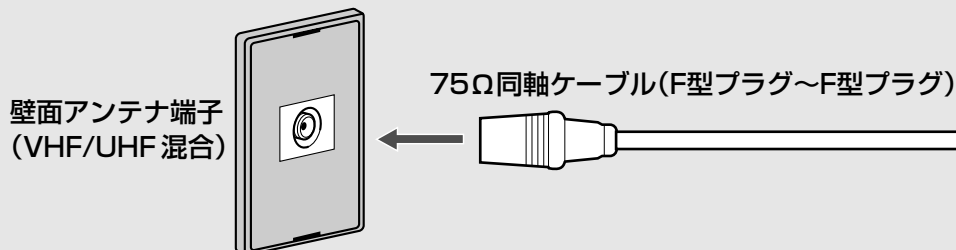
ご注意
- アンテナの設置・接続は、できるだけお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナケーブルには同軸ケーブル(別売)をお使いください。フィーダー線の使用はできるだけ避けてください。
- VHF/UHF/FMとBS・110度CSの電波が混合されているときは、分波器(または分配器)が必要になります。分波器(または分配器)は妨害を受けにくくするため、金属のケースで作られたものをご使用ください。ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

アンテナを接続する前にカバーを取り外してください

フックを外してカバーを取り外します。
カバーを取り付けるときは、カバー底面のつめを本体に掛けてフックをはめ込みます。

➡次のページへ

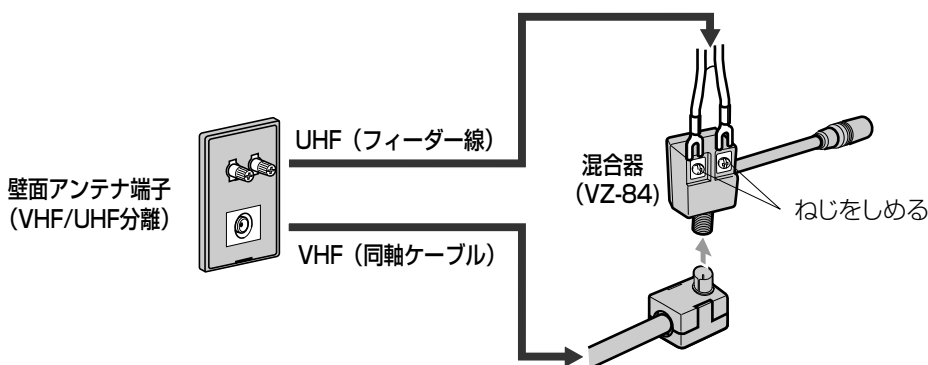
VHF/UHFアンテナの接続

お知らせ

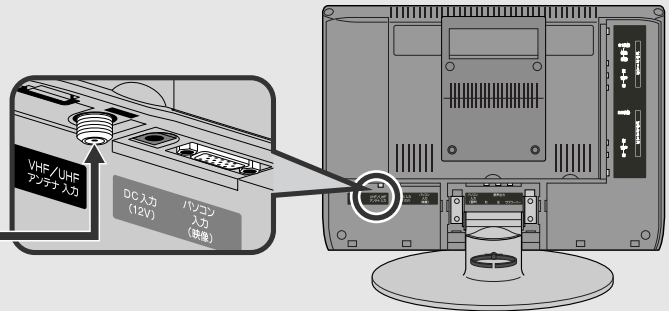
- ビデオデッキを接続するときは、アンテナケーブルはビデオデッキに接続してから本機に接続します。「ビデオデッキをつなぐとき」(☞17ページ)をご覧になって、接続してください。
- VHF端子とUHF端子が別々に分かれているときは下記の「VHFとUHFが分かれているとき」をご覧ください。
- 先バラの同軸ケーブルをお使いの場合など、付属のアンテナコネクターの取り付けが必要なときは「コネクターのつなぎかた」(☞17ページ)をご覧ください。

VHF/UHFと衛星デジタル放送が一緒のとき

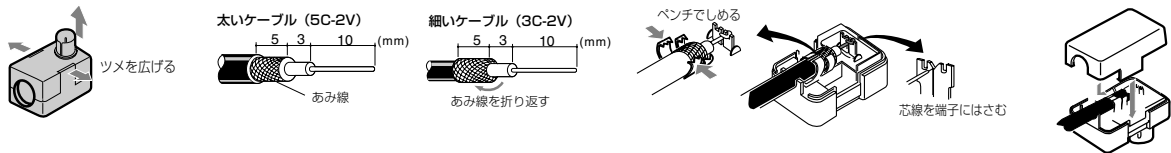
別売の分波器が必要です。

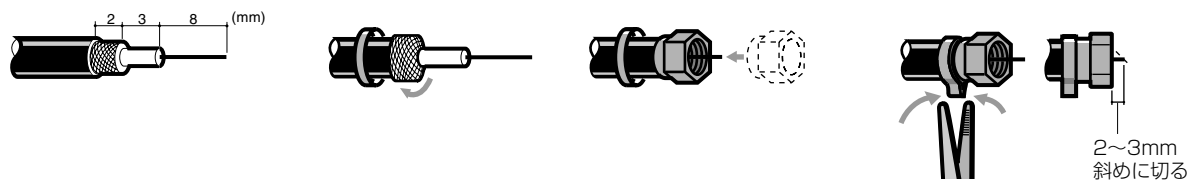
VHFとUHFが分かれているとき

別売の混合器（VZ-84)が必要です。

75Ω同軸ケーブルが先バラのときは、付属のアンテナコネクターにつないでから（「コネクターのつなぎかた」☞17ページ）、混合器につなぎます。
F型プラグのときはそのまま混合器につなぎます。

本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続する

コネクターのつなぎかた

アンテナコネクター(付属)のつなぎかた

1 カバーをはずす　**2** ケーブルを加工する　**3** ケーブルをつなぐ　**4** カバーをつける

F型コネクター(別売)のつなぎかた

1 ケーブルを加工する　**2** リングをとおす　**3** コネクターを差し込む　**4** リングをペンチで締める

ビデオデッキをつなぐとき

VHF/UHFアンテナをビデオデッキ経由で本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続します。

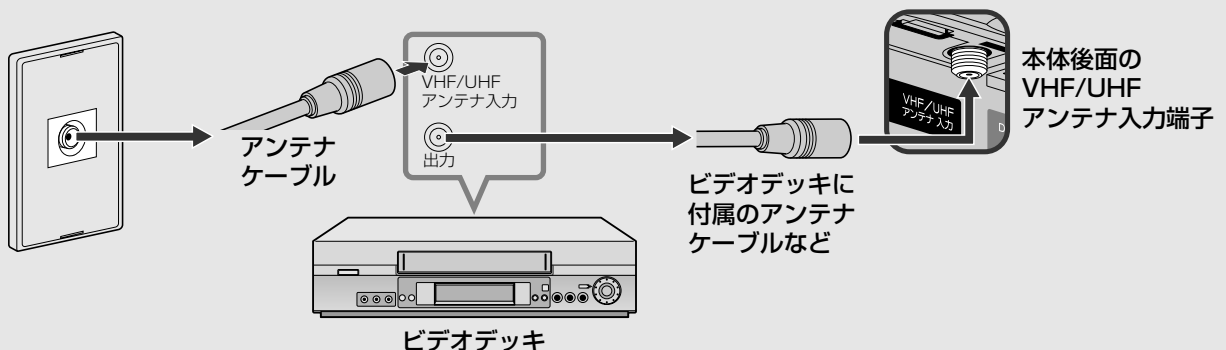
ご注意

- **接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。**
- ビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

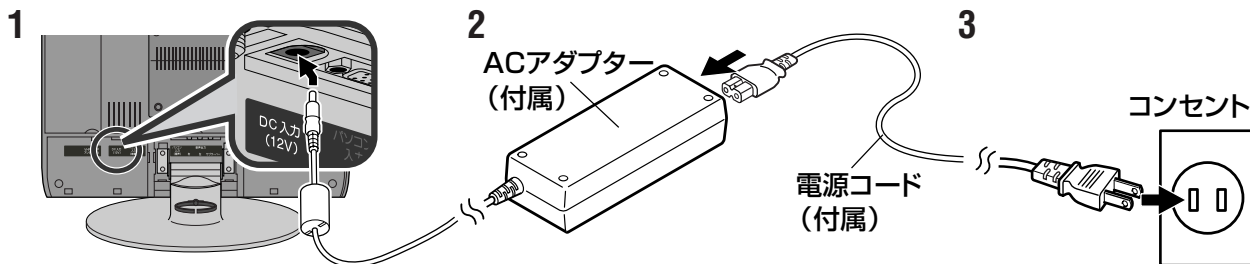
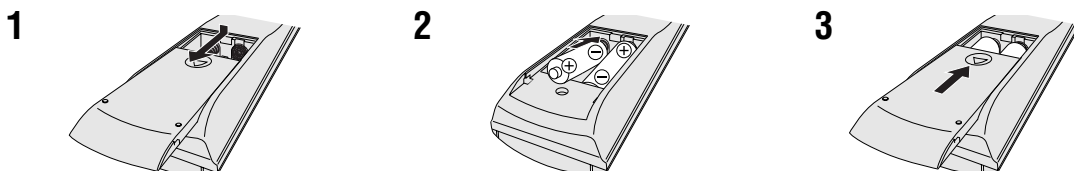
お知らせ

- 映像･音声コードの接続は、「他の機器をつなぐ」の「ビデオデッキをつなぐ」(☞47ページ)をご覧ください。

準備する

3 アンテナをつなぐ

4 電源を入れる

1. ACアダプターと電源コードをつなぐ

必ず「1→2→3」の順番で接続してください。
電源プラグをコンセントに差し込むと、本体の電源ランプが赤く点灯します。（スタンバイ状態になります。）

2. リモコンに付属の単3乾電池2本を入れる

お知らせ

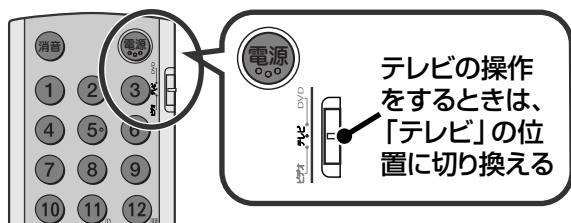
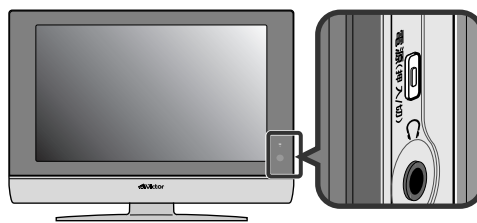
- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

ご注意

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

3. リモコン、または本体の電源ボタンを押す

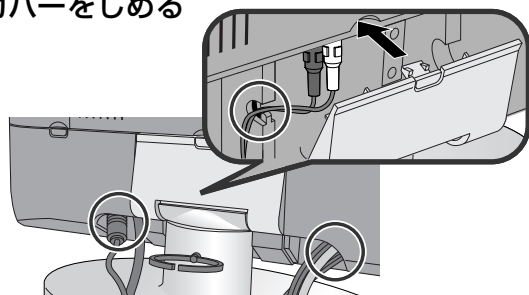
電源が「入」になると、本体の電源ランプが緑色に点灯します。

リモコンの電源ボタン

本体の電源ボタン

5 コードをまとめる

本体後面のコードホルダーを使って、接続したコードをまとめます。

1. 下図のようにコードを引き出し、カバーをしめる

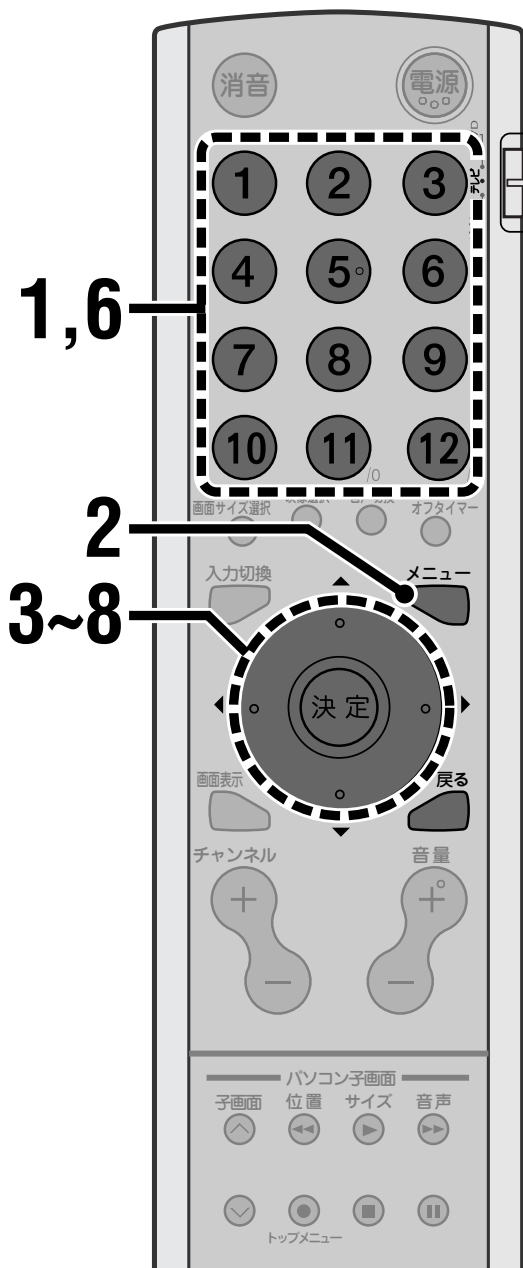
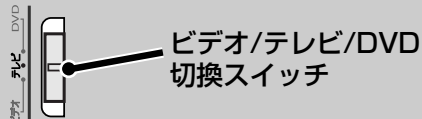
ご注意

コードの太さによってはカバーがしまらないときがあります。その場合はカバーを外してご使用ください。

2. たばねたコードをコードホルダーにまとめる

コードホルダー

6 チャンネルを合わせる

お住まいの地域番号を選ぶと、受信できるチャンネルを一括して自動的に設定します。
21～24ページの地域番号表をご覧になって、お住まいの地域で受信できる放送局の組み合わせに一番合った地域番号を選んでください。隣接する都道府県の地域番号も参考にしてください。

テレビを操作するときは
テレビを操作するときは、ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチを「テレビ」の位置にしてください。

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 チャンネル数字ボタンを押して地上アナログ放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

メニュー	
▶**映像調節**	▶
音声調節	▶
各種設定	▶
初期設定	▶
▼▲で選択 戻るで終了	決定で映像調節

3 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

初期設定	
▶**地域チャンネル合わせ**	▶
チャンネル設定変更	▶
CATVダイレクト選局	切り
▼▲で選択 戻るでメニューへ	決定で設定

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「地域チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す

「地域チャンネル合わせ」画面が表示されます。

地域チャンネル合わせ	
▶**地域番号（000）初期設定**	
実行	▶
▼▲で選択 戻るで初期設定へ	◀▶で設定

➡次のページへ

5 カーソルボタン（▲▼）を押して「地域番号」を選ぶ

6 カーソルボタン（◀▶）を押してお住まいの地域番号を選ぶ

21～24ページの地域番号表をご覧になって、お住まいの地域で受信できる放送局の組み合わせに一番合った地域番号を選んでください。

例：（042）「23区」を選んだとき

地域チャンネル合わせ	
▶地域番号（042）23区	
実行	▶
▼▲で選択	◀▶で設定
戻るで初期設定へ	

- リモコンで選ぶときは、チャンネル数字ボタンの1～9、0（11）を押して地域番号を入力できます。

7 カーソルボタン（▲▼）を押して「実行」を選び、決定ボタンを押す

選んだ地域のチャンネルが自動的に設定され、「チャンネル設定」画面が表示されます。

チャンネル設定（042）23区

番号	受信	番号	受信
▶1：	CH 1	7：	CH 38
2：	CH 14	8：	CH 8
3：	CH 3	9：	CH 42
4：	CH 4	10：	CH 10
5：	CH 16	11：	CH 46
6：	CH 6	12：	CH 12

▼▲で選択　◀▶でチャンネル設定変更へ
戻るで前画面へ

8 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して、各チャンネルが受信できることを確認する

選んだチャンネルに切り換わります。

メニューを消すには
メニューボタンを押す

お住まいの地域名がないときは

地域番号表（☞21～24ページ）から、お住まいに近い地域名をさがして設定してください。

うまく受信できないチャンネルがあるときは

お住まいの場所によっては、近隣の地域を選んだ方がうまく受信できることがあります。近県または近隣の地域を選び、もう一度地域チャンネル合わせを行ってみてください。
「1」と「2」がある地域の場合、「1」でうまく受信できないときは「2」を選んで、もう一度地域チャンネル合わせを行ってみてください。
例：八王子市にお住まいの方で「八王子1」で放送が受信できないときは「八王子2」に設定してください。

ご注意
横浜市にお住まいの方は、はじめに「横浜2」で設定してください。放送が受信できないときは「横浜1」に設定してください。

次のような場合は「チャンネルを個別に設定する」（☞25ページ）をご覧ください。

受信状態が悪いとき
「チャンネル設定変更」画面の「ファイン調整」で調節します。

空きチャンネルの設定を変えたい
チャンネルをチャンネル＋/－ボタンで切り換えるときに、空きチャンネルを選ばないように設定できます（チャンネルスキップ）。
また、空きチャンネルに受信できる他のチャンネルを割り当てることができます。

チャンネルの画面表示を変えたい
チャンネル番号と画面表示が異なるときは、一致するように設定できます。例えば、42チャンネルを選んだら、画面表示も「42」になるように設定できます。

ご注意
地域チャンネル合わせはテレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。（☞25ページ）

地域番号表

お知らせ

放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。(2003年11月現在)

地域番号表の見かた

リモコンのチャンネル番号

	地域番号	放送局名・受信チャンネル 1	2	3
都道府県名	地域名（対応都市）地域番号	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

	地域番号	放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー	初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別) 001	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小　樽 002		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭　川 003		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名　寄 004			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚　内 005		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室　蘭 006		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧 007		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函　館 008		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯　広 009		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧　路 010		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網　走 011	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北　見 012		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森(弘前) 013	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八　戸 014		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	む　つ 015				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛　岡 016				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日放送 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜　石 017		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日放送 62	岩手放送 10		NHK教育 12
	二　戸 018		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日放送 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙　台 019	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石　巻 020	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼 021		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋　田 022		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大　館 023				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大　曲 024		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山　形 025		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビュー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビュー山形 22				山形テレビ 39
	米　沢 027		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビュー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2		テレビュー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき 029		テレビュー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松 030	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビュー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		

地域番号表（つづき）

お知らせ

放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。（2003年11月現在）

地域番号表の見かた

	地域番号	放送局名・受信チャンネル 1	2	3
都道府県名	地域名（対応都市） 地域番号	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

リモコンのチャンネル番号

	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸(ひたちなか) 031	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
茨城	日立 032	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮1 033	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	とちぎＴＶ 31	テレビ東京 17
栃木	宇都宮2 135	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 41	とちぎＴＶ 31	テレビ東京 44
栃木	矢板1 034	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	とちぎＴＶ 33	テレビ東京 61
栃木	矢板2 136	NHK総合 40		NHK教育 30	日本テレビ 36		TBS 42		フジテレビ 45		テレビ朝日 59	とちぎＴＶ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋（伊勢崎・高崎） 035	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
群馬	桐生1 036	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 33		テレビ東京 31
群馬	桐生2 137	NHK総合 51		NHK教育 57	日本テレビ 53	群馬テレビ 41	TBS 55	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
埼玉	さいたま（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越） 037	NHK総合 1	ＭＸテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
埼玉	熊谷1 038	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17
埼玉	熊谷2 138	NHK総合 51		NHK教育 35	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 30	テレビ東京 61
埼玉	秩父1 039	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
埼玉	秩父2 139	NHK総合 14		NHK教育 49	日本テレビ 16		TBS 18		フジテレビ 29		テレビ朝日 38	テレビ埼玉 47	テレビ東京 44
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代） 040	NHK総合 1	ＭＸテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
千葉	銚子 041	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区（昭島・青梅・清瀬・小金井・小平・立川・調布・西東京・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹） 042	NHK総合 1	ＭＸテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
東京	八王子1 043	NHK総合 51	ＭＸテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
東京	八王子2 140	NHK総合 33	ＭＸテレビ 40	NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 31		テレビ朝日 45		テレビ東京 62
東京	多摩1 044	NHK総合 30	ＭＸテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22		テレビ朝日 20		テレビ東京 18
東京	多摩2 141	NHK総合 49	ＭＸテレビ 61	NHK教育 47	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59
神奈川	横浜1（横浜の一部） 045	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
神奈川	横浜2（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀） 046	NHK総合 1	ＭＸテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
神奈川	平塚(茅ヶ崎) 047	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
神奈川	秦野 048	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
神奈川	小田原 049	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府 050	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1 051		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
長野	長野2 052		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
長野	松本 053		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
長野	飯田 054			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
長野	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟(長岡) 056			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
新潟	上越 057	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		

	地域番号	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山 058	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
	高岡 059	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢(小松) 060		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
	七尾 061	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井 062			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀 063						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12
岐阜	岐阜(大垣) 064	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	高山 065		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
	中津川 066				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡 (清水・焼津) 067		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
	浜松 068		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士(富士宮) 069		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	三島・沼津 070		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
	島田 071	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤枝 072	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋 (安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田) 073	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	豊橋(豊川) 074	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
	豊田 075	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津 (鈴鹿・松阪・四日市) 076	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	伊勢 077	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
	名張 078	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大津 079		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦根 080		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都(宇治) 081		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴 082		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山 083		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大阪 (池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾) 084		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸1 085		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26
	神戸2 142		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 31		朝日放送 41		関西テレビ 43		読売テレビ 47	テレビ大阪 19	NHK教育 45
	神戸灘 086		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川西 087		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三木 088		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫路 089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石(加古川) 090		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良(橿原) 091		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五条 092		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺 094		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取 095	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松江 096	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田 097		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山(倉敷) 098	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山 099		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠岡 100		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	

6 チャンネルを合わせる（つづき）

地域番号表（つづき）

お知らせ

放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。(2003年11月現在)

地域番号表の見かた

都道府県名	地域番号	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島 101	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
広島	福山 102	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
広島	尾道 103	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
広島	呉 104	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口（徳山・防府） 105	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
山口	下関 106	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
山口	宇部 107	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
山口	岩国 108	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島 109	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松 110	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
香川	丸亀 111	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山 112		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
愛媛	新居浜 113		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
愛媛	今治 114		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
愛媛	宇和島 115	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知 116				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡 117	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
福岡	久留米 118	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
福岡	大牟田 119	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
福岡	北九州 120		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
福岡	行橋 121		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀 122		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎 123	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
長崎	佐世保 124		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
長崎	諫早 125	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本(八代) 126		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分(別府) 127			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
大分	中津 128			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎(都城) 129						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
宮崎	延岡 130		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島 131	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
鹿児島	阿久根 132		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
鹿児島	鹿屋 133		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇(沖縄) 134		NHK総合 2			琉球朝日放送 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

チャンネルを個別に設定する

「チャンネルを合わせる」(☞19ページ)ではうまく受信できないときは、こちらで設定してください。また、空きチャンネルや画面表示の設定を変更することもできます。

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 チャンネル数字ボタンを押して地上アナログ放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

メニュー	
▶**映像調節**	▶
音声調節	▶
各種設定	▶
初期設定	▶
▼▲で選択 戻るで終了	決定で映像調節

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

初期設定	
▶**地域チャンネル合わせ**	▶
チャンネル設定変更	▶
CATVダイレクト選局	切り
▼▲で選択 戻るでメニューへ	決定で設定

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

例:LT-23LA5の場合

チャンネル設定変更	
▶**リモコンボタン**	1
受信チャンネル	CH01
表示	1
スキップ	切り
ファイン調整	00
GRT(ゴースト低減)	入り
▼▲で選択 戻るで初期設定へ	◀▶で設定

➡次のページへ

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「リモコンボタン」を選ぶ

6 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更したいチャンネル数字ボタンを選ぶ

例:LT-23LA5の場合

チャンネル設定変更	
▶リモコンボタン	3
受信チャンネル	CH03
表示	3
スキップ	切り
ファイン調整	00
GRT (ゴースト低減)	入り
▼▲で選択 戻るで初期設定へ	◀▶で設定

7 カーソルボタン(▲▼)を押して設定する項目を選ぶ

リモコンボタン
設定するチャンネル数字ボタンを選びます。(1〜12)

受信チャンネル
チャンネル数字ボタンを押したときに受信するチャンネルを選びます。
(1〜12:VHF放送、13〜62:UHF放送、C13〜C63:CATV放送)

表示
テレビ画面上に表示するチャンネル番号を選びます。

スキップ
チャンネル+/−ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします(チャンネルスキップ)。
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「入り」を選びます。

ファイン調整
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

GRT(ゴースト低減) (LT-23LA5のみ)
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。通常は「入り」を選びます。(「地域チャンネル合わせ」を行うと、自動的に「入り」に設定されます。ただし、1チャンネルまたは2チャンネルに受信するチャンネルがない場合には、ゴースト低減機能は「切り」になります。)

8 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

9 他のチャンネルの設定を変更するには、カーソルボタン(▲▼)を押して「リモコンボタン」を選び、手順6からくり返す

設定画面を消すには
メニューボタンを押す

空きチャンネルを使うには

1. 手順1〜手順6を行い、手順6で放送を受信していないチャンネル数字ボタンを選ぶ
2. 手順7で「受信チャンネル」を選ぶ
3. 受信できるチャンネルの番号をカーソルボタン(◀▶)で選ぶ
4. メニューボタンを押して終了する

チャンネルの画面表示を変えるには

チャンネル番号と画面表示が異なるときは、一致するように設定できます。例えば、42チャンネルを選んだら、画面表示も「42」になるように設定できます。

1. 手順1〜手順6を行い、手順6で画面表示を変更したいチャンネル数字ボタンを選ぶ
2. 手順7で「表示」を選ぶ
3. 表示させたい番号をカーソルボタン(◀▶)で選ぶ
   - この例では「42」を選びます。
4. メニューボタンを押して終了する

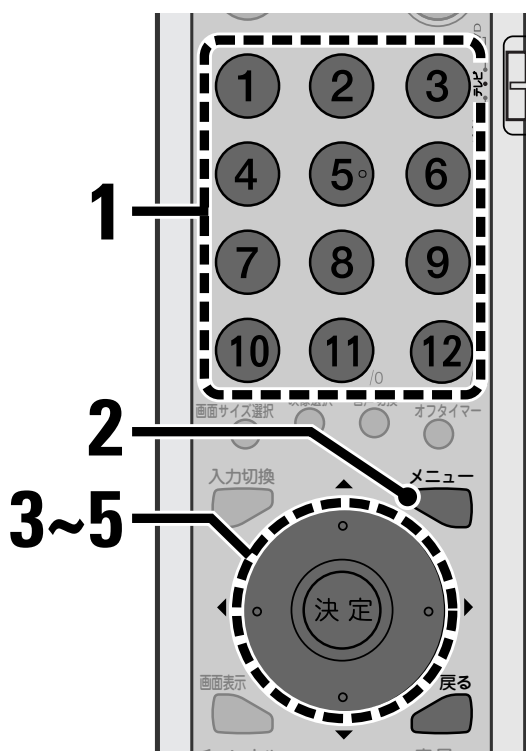
CATVチャンネルを設定する

CATV(ケーブルテレビ)を受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはお住まいの地域のCATV各社にご相談ください。

CATVチャンネルの選局方法を選ぶ

CATVをご覧の方は、まずこちらの設定を行ってください。チャンネル番号を直接入力して選局できます。

お知らせ

CATVをご覧にならない場合、CATVをご覧の場合でも受信できるチャンネル数が12以下のときは、この設定は必要ありません。

設定を途中でやり直すには

戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 チャンネル数字ボタンを押して地上アナログ放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「CATVダイレクト選局」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して「入り」を選ぶ

設定画面を消すには

メニューボタンを押す

「CATVダイレクト選局」で選ぶには

チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで入力します。

例: VHFの1チャンネルを選局するときは
0(11)、1と押す

例: VHFの12チャンネルを選局するときは
1、2と押す

例: CATVのチャンネル34を選局するときは
3、4と押す

- 1けたのチャンネル番号を入力するときは、次の方法でも入力できます。

  例: VHFの1チャンネルを選局するときは
  1、選局(12)と押す

  例: VHFの1チャンネルを選局するときは
  1を押して約3秒待つと、自動的に切り換わります。

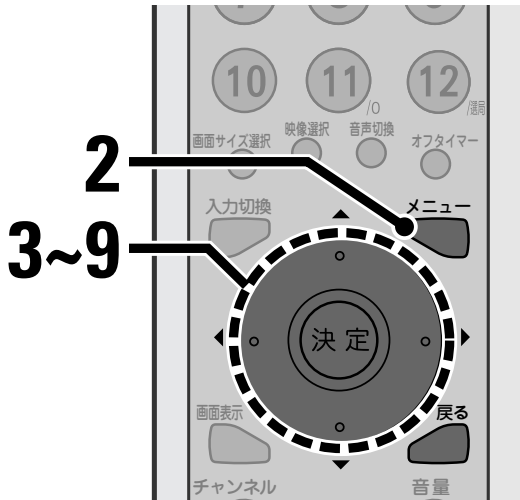
お買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの1～12ボタンで直接選局できるように戻すには、手順5で「切り」を選びます。

ご注意

「入り」に設定すると、地上アナログ放送のチャンネルもCATVダイレクト選局になります。CATVをご覧にならないときは「切り」を選んでください。

CATVチャンネルを個別に設定する

受信するCATVチャンネルを個別に設定します。
設定を行う前に、27ページをご覧になって、「CATVダイレクト選局」を「入り」に設定してください。

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 CATVのチャンネル(C13〜C63)に切り換える

2 メニューボタンを押す
メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
「初期設定」メニューが表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す
「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

例:LT-23LA5の場合

チャンネル設定変更	
▶リモコンボタン	C14
ファイン調整	00
スキップ	切り
GRT（ゴースト低減）	入り
▼▲で選択 戻るで初期設定へ	◀▶で設定

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「リモコンボタン」を選ぶ

6 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更したいチャンネル数字ボタンを選ぶ

例:LT-23LA5の場合

チャンネル設定変更	
▶リモコンボタン	C25
ファイン調整	00
スキップ	切り
GRT（ゴースト低減）	入り
▼▲で選択 戻るで初期設定へ	◀▶で設定

7 カーソルボタン(▲▼)を押して設定する項目を選ぶ

リモコンボタン
設定するチャンネルの番号を選びます。(C13〜C63)

ファイン調整
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

スキップ
チャンネル+/−ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「入り」を選びます。

GRT(ゴースト低減) (LT-23LA5のみ)
ゴースト(映像が2重･3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
通常は「入り」を選びます。(お買い上げ時はすべてのCATVチャンネルで「入り」になっています。)

8 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

9 他のチャンネルの設定を変更するには、カーソルボタン(▲▼)を押して「リモコンボタン」を選び、手順6からくり返す

設定画面を消すには
メニューボタンを押す

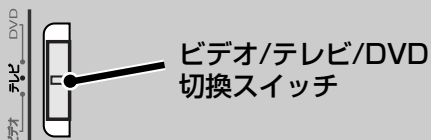
ふだんの使い方

テレビを見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
本体にある同じ名前のボタンでも同様に操作できます。

テレビを操作するときは

テレビを操作するときは、ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチを「テレビ」の位置にしてください。

ビデオ/テレビ/DVD
切換スイッチ

1 電源を入れる

リモコンの電源ボタンを押す

電源が「入」になります。

- 本体の電源ボタンを押しても電源が「入」になります。
- 本体の電源ランプが赤から緑に変わります。

電源を切るには

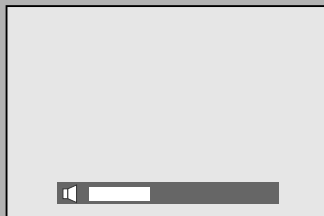
リモコンの電源ボタンを押す

電源が「切」(スタンバイ状態)になります。

- 本体の電源ボタンを押しても電源が「切」になります。
- 本体の電源ランプが緑から赤に変わります。

2 音量を調節する

音量+/−ボタンを押す

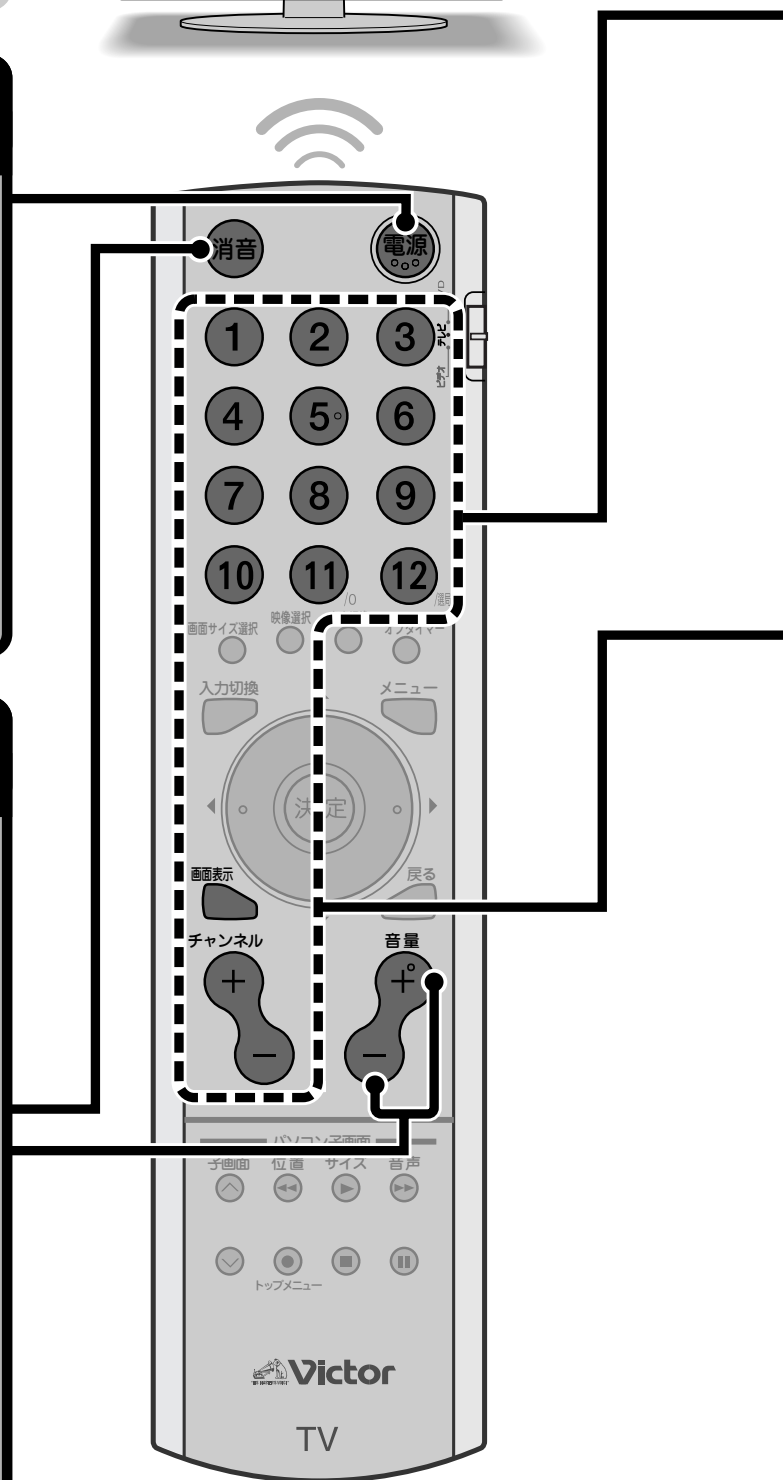
画面に音量が表示されます。

画面表示

急いで音を消すには

消音ボタンを押す

電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
「消音中」と画面に表示され続けます。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

ご注意

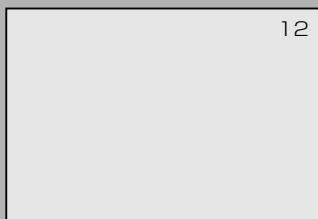
メニューを表示中に消音ボタンを押すと、メニューが消えます。

3 チャンネルを選ぶ

チャンネル数字ボタンを押す

選んだチャンネルが画面に表示されます。

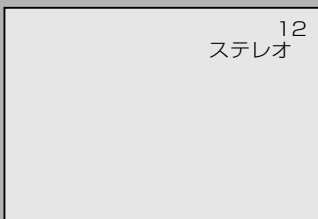
画面表示

チャンネルを順番に選ぶには

チャンネル＋/－ボタンを押す

チャンネル番号を画面に表示する

画面表示ボタンを押す

チャンネル番号と現在の音声が表示されます。

もう一度押すと、画面表示が消えます。

画面表示

指定した時間に電源を切る

オフタイマーボタンをくり返し押して、設定する時間を選ぶ

押すたびに設定時間が変わります。
設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

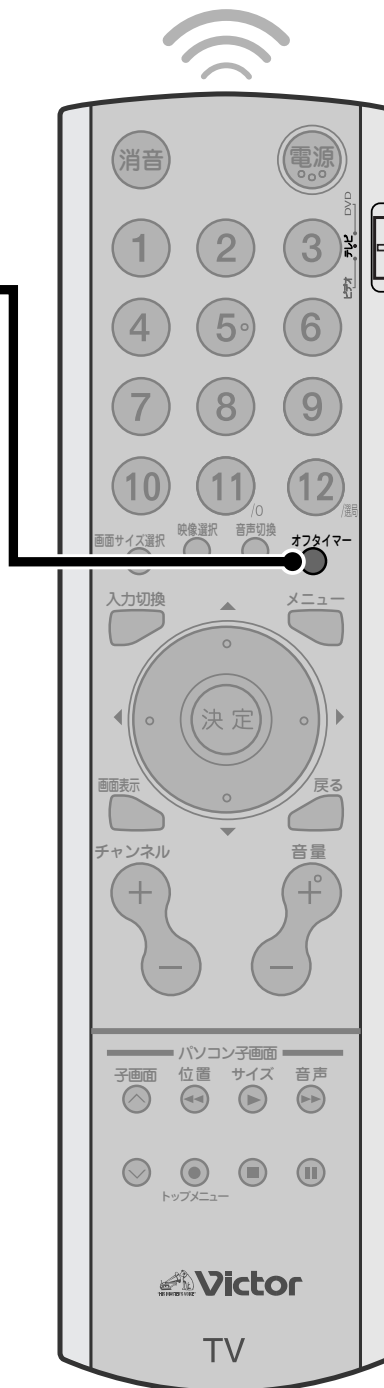
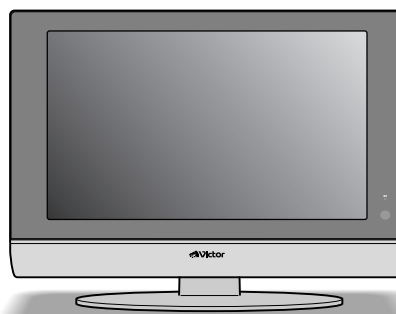
オフタイマー 30分

お知らせ

電源が切れる3分前になると再び残り時間が表示され、電源が切れるまで強制的に表示されます。

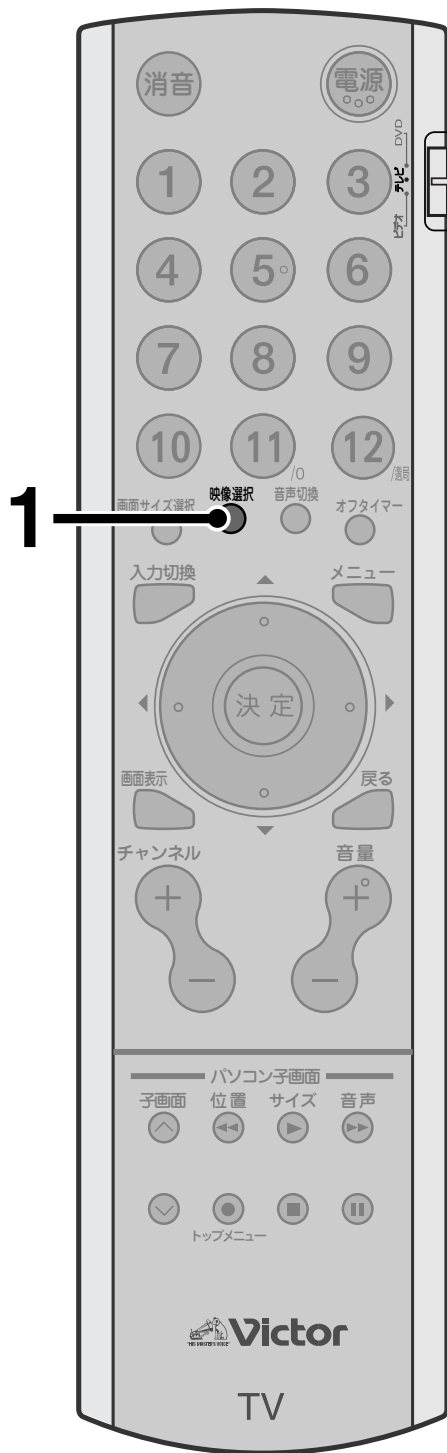
残り時間を確認するには
オフタイマーボタンを押す
画面右上に残り時間が数秒間表示されます。

設定時間を変更するには
オフタイマーボタンをくり返し押して、設定時間を選び直す

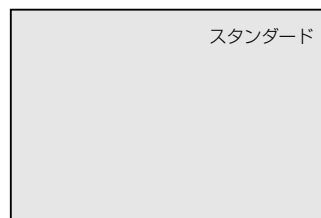
オフタイマーを解除するには
オフタイマーボタンをくり返し押して、「切り」を選ぶ

いろいろな機能で楽しむ

お好みの映像にする

画質を選ぶ

5種類の画質（スタンダード・ダイナミック・シアター・ゲーム・お好み）から選びます。
お買い上げ時は「ダイナミック」に設定されています。
ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

1 映像選択ボタンをくり返し押してお好みの画質を選ぶ

押すたびに画質が変わります。

例：「スタンダード」を選んでいるとき

ダイナミック
明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき

スタンダード
ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき

シアター
映画番組や映画ソフトを楽しむとき

ゲーム
テレビゲームを楽しむとき
（明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります。）

お好み
あらかじめ設定した画質でお楽しみになるとき（☞35ページ）

メニューから画質を選ぶには

1. **メニューボタンを押す**
2. **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「映像調節」を選び、決定ボタンを押す**
   「映像調節」メニューが表示されます。
3. **カーソルボタン（▲▼）を押して「映像選択」を選ぶ**
4. **カーソルボタン（◀▶）をくり返し押してお好みの画質を選ぶ**
   選んだ画質に切り換わります。

ご注意

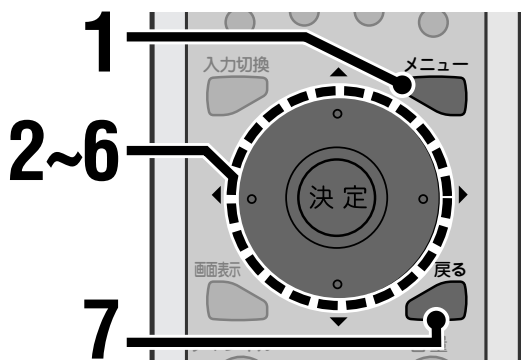
パソコン入力を選んでいるときは次のようになります。

- メニューボタンを押すと、パソコンメニューが表示されます。パソコン入力用の映像調節が行えます。（☞52ページ）
- 映像選択ボタンやメニューで画質を切り換えることはできません。

映像を調節する

お好みに合わせて調節した画質を、あらかじめ設定できます。

映像調節の項目と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節のめやす
ピクチャー	弱める	強める	映像のメリハリを調節する
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
色あい	赤っぽく	緑っぽく	健康的な肌色に
色の濃さ	薄く	濃く	（交互に調節）
シャープネス	やわらか	くっきり	好みの輪郭に
バックライト	暗く	明るく	画面の明るさを変える
白バランス	高い色温度	低い色温度	画面全体の色調を選ぶ 高：標準 低：赤みが強くなる

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「映像調節」を選び、決定ボタンを押す

「映像調節」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）を押して「映像選択」を選ぶ

4 カーソルボタン（◀▶）をくり返し押して「お好み」を選ぶ

5 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して調節する項目を選ぶ

6 カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

調節画面が表示されます。

例：「ピクチャー」を選んだとき

- 「白バランス」を調節するときは、調節画面は表示されません。

7 他の項目も調節するときは戻るボタンを押し、手順5と手順6をくり返す

- 「白バランス」の調節後に他の項目を調節するときは、手順5と手順6をくり返します。

メニューを消すには
メニューボタンを押す

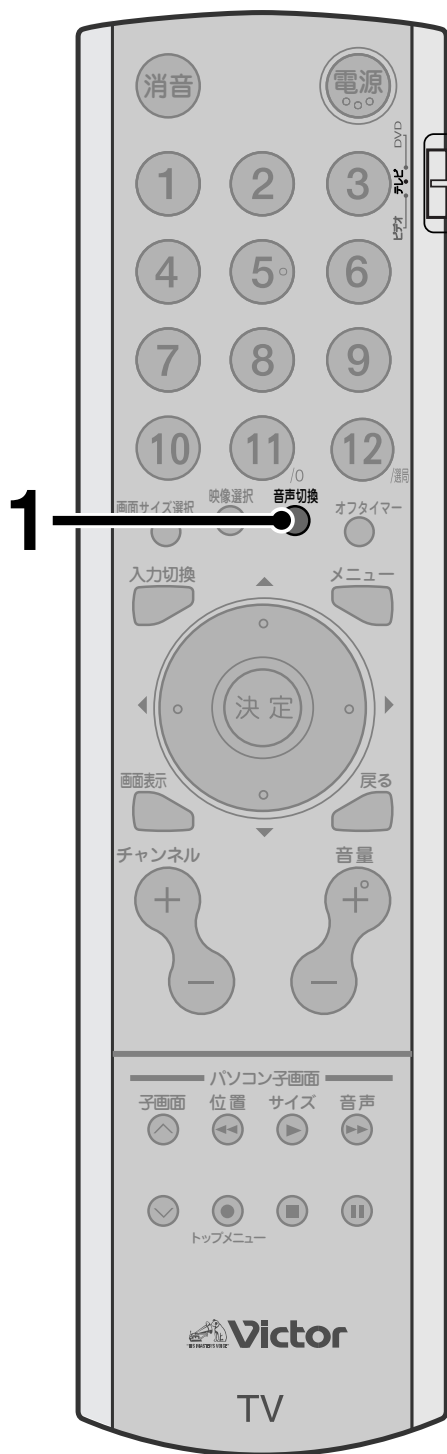
お買い上げの時の設定に戻すには

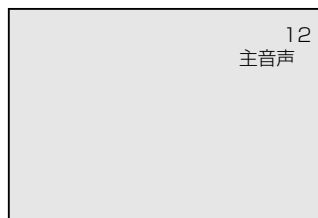
手順5で「標準」を選び、カーソルボタン（◀▶）を押します。

ご注意
- 「お好み」以外の画質を選んでいるときは、「白バランス」のみ調節できます。
- パソコン入力を選んでいるときは、メニューボタンを押すとパソコンメニューが表示されます。パソコン入力用の映像調節を行えます。（☞52ページ）

お好みの音声にする

音声を切り換える

二重音声放送やステレオ音声放送のときに、聞きたい音声を選びます。

1 音声切換ボタンをくり返し押してお好みの音声を選ぶ

例：二重音声放送を受信しているとき

押すたびに次のように音声が切り換わります。

二重音声放送の受信中

→「主音声」→「副音声」→「主＋副音声」

ステレオ放送の受信中

→「ステレオ」→「モノラル」

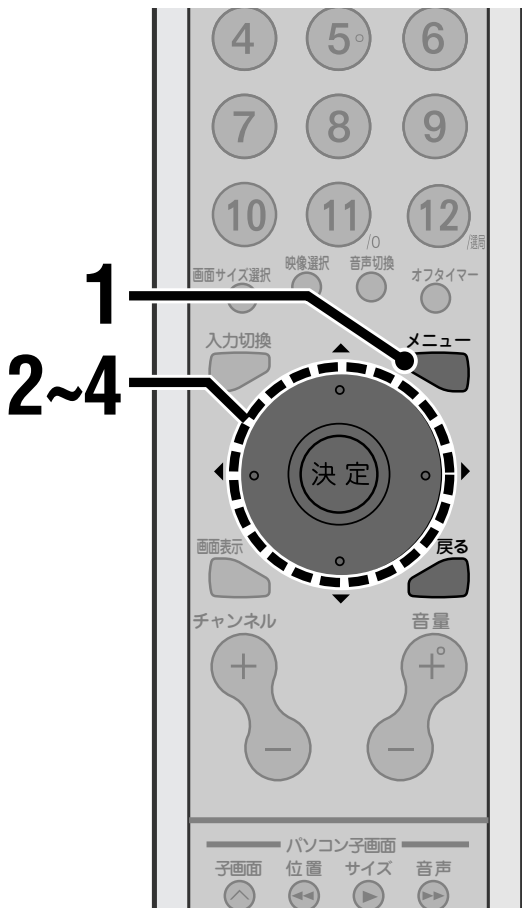
ご注意

音声が切り換えられるかどうかは番組によって異なります。

音声を調節する

音声をお好みで調節できます。

音声調節の内容と調節のめやす

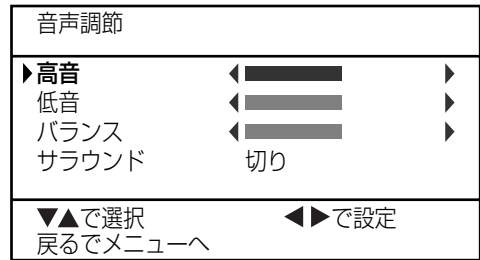
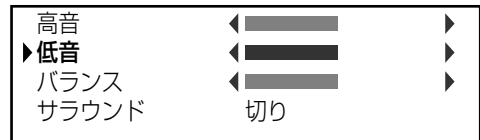
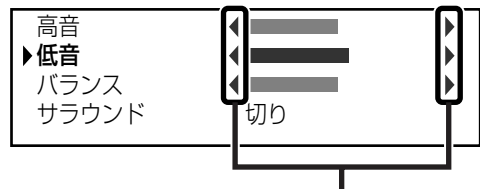
調節項目	◀	▶
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
バランス	左側が大きく	右側が大きく
サラウンド	「入り」: より臨場感のある音声を楽しめます。 「切り」: この機能は働きません。	

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「音声調節」を選び、決定ボタンを押す

「音声調節」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して調節する項目を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

「高音」「低音」「バランス」の調節値がお買い上げ時の設定のときは、黄色で表示されます。

5 他の項目も調節するときは手順3と手順4をくり返す

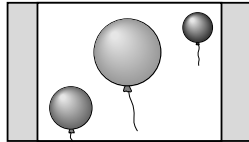
メニューを消すには
メニューボタンを押す

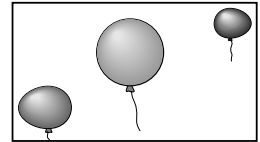
画面サイズを変える

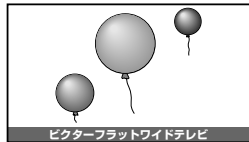
画面サイズの種類

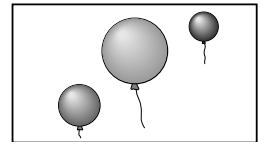
このテレビでは、横縦比（画面サイズ）16：9の横長画面を活かして、いろいろな画面サイズで映像を楽しむことができます。ここでは画面サイズの種類と、その見えかたを説明します。

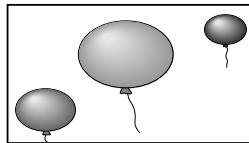
ノーマル

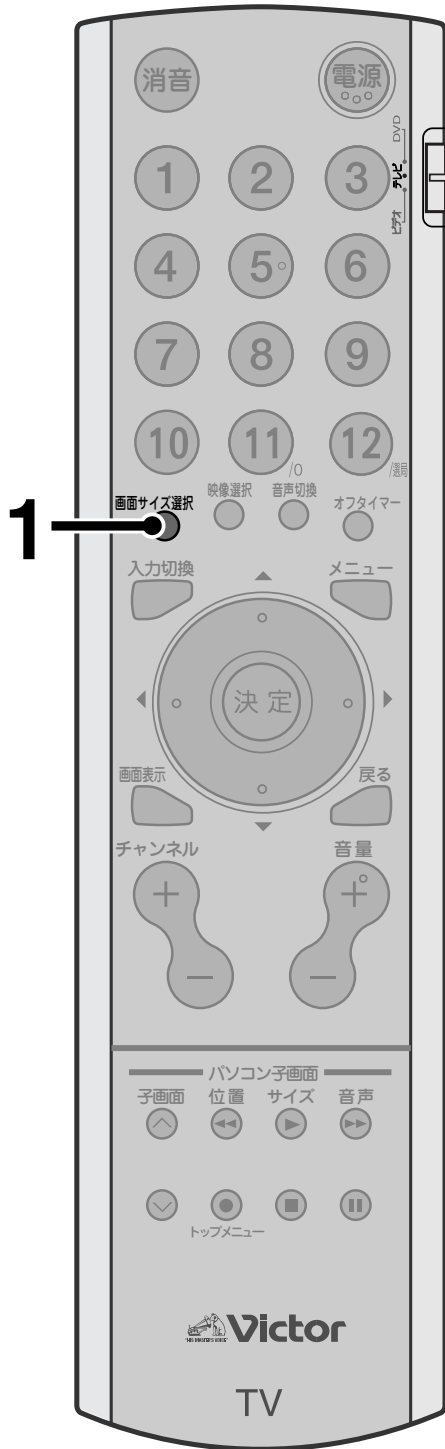
• テレビ番組をオリジナルサイズ(4:3)で見るとき
地上アナログ放送の映像は横と縦の比率が4:3となっています。このオリジナルのサイズで映像を映します。このとき、左右に帯が残ります。

パノラマ

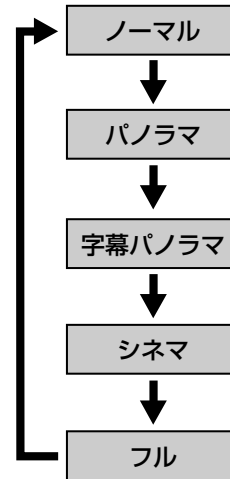
• テレビ番組を自然に拡大して見るとき
地上アナログ放送の映像を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。

字幕パノラマ

• 字幕入りの映画番組を見るとき
映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。

シネマ

• 映画番組を見るとき
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを、黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては帯が残ることがあります。

フル

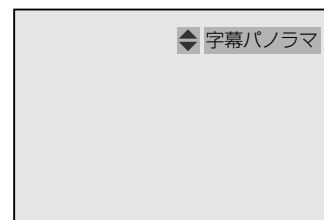
• テレビ番組を画面いっぱいに拡大して見るとき
オリジナルサイズのテレビ映像（4:3）を、そのまま画面いっぱいに映します。

ご注意
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能（パノラマ）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズを選ぶ

1 画面サイズ選択ボタンをくり返し押してお好みの画面サイズを選ぶ

押すたびに画面サイズが変わります。

画面の位置を調節するには

「字幕パノラマ」、「パノラマ」、または「シネマ」を選んでいるときは、画面の上下位置を調節できます。

1 画面サイズボタンをくり返し押して、「字幕パノラマ」、「パノラマ」、または「シネマ」を選ぶ

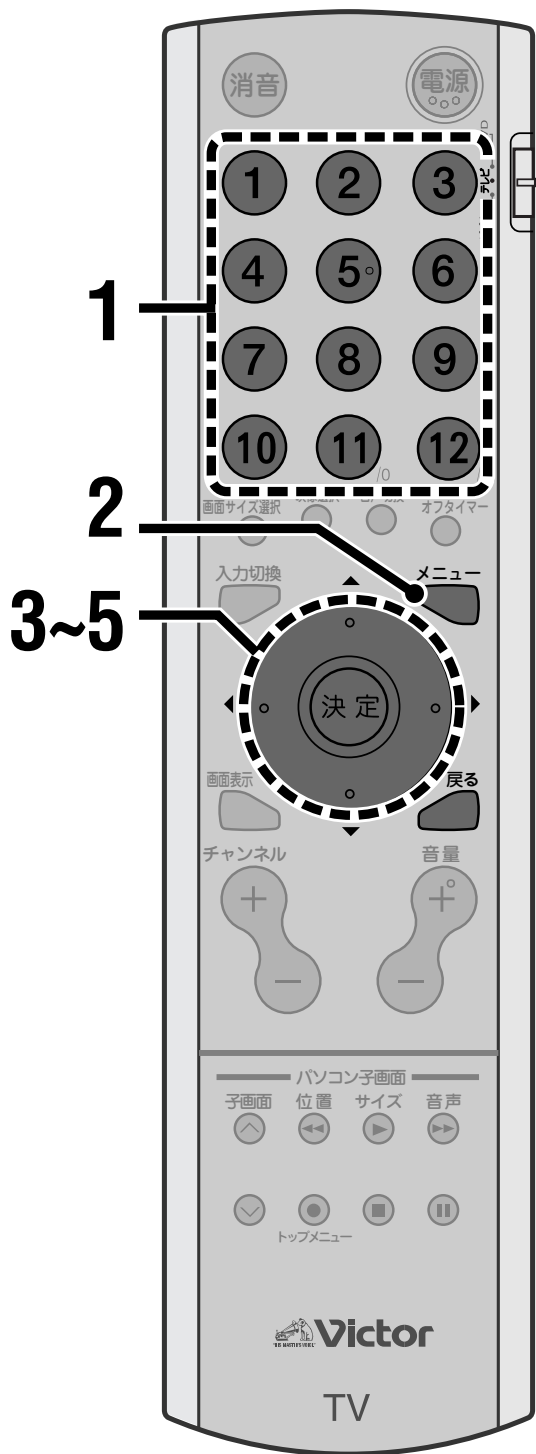
次のような画面が表示されます。

2 上記の画面が表示されているときにカーソルボタン(▲▼)を押して調節する

- カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、調節できる上限または下限の位置で、画面表示の矢印が変わります。
  センターの位置では⬍の表示です。

お知らせ

パソコン入力を選んでいるときは「ノーマル」または「フル」のみ選べます。

画面を青くする

受信状態の悪いチャンネルやまったく信号を受信できないチャンネルを選んでいるときは、自動的に画面を青くして、音声を消すように設定できます。

1 チャンネル数字ボタンを押して地上アナログ放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す

「各種設定」メニューが表示されます。

各種設定	
▶**ブルーバック**	**入り**
テレビ消し忘れ防止	しない
無信号オートオフ	しない
▼▲で選択 戻るでメニューへ	◀▶で設定

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「ブルーバック」を選ぶ

入り

受信状態の悪いチャンネルやまったく信号を受信できないチャンネルを選んでいるときは、自動的に画面を青くして、音声を消します。

切り

この機能は働きません。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

メニューを消すには

メニューボタンを押す

設定を途中でやり直すには

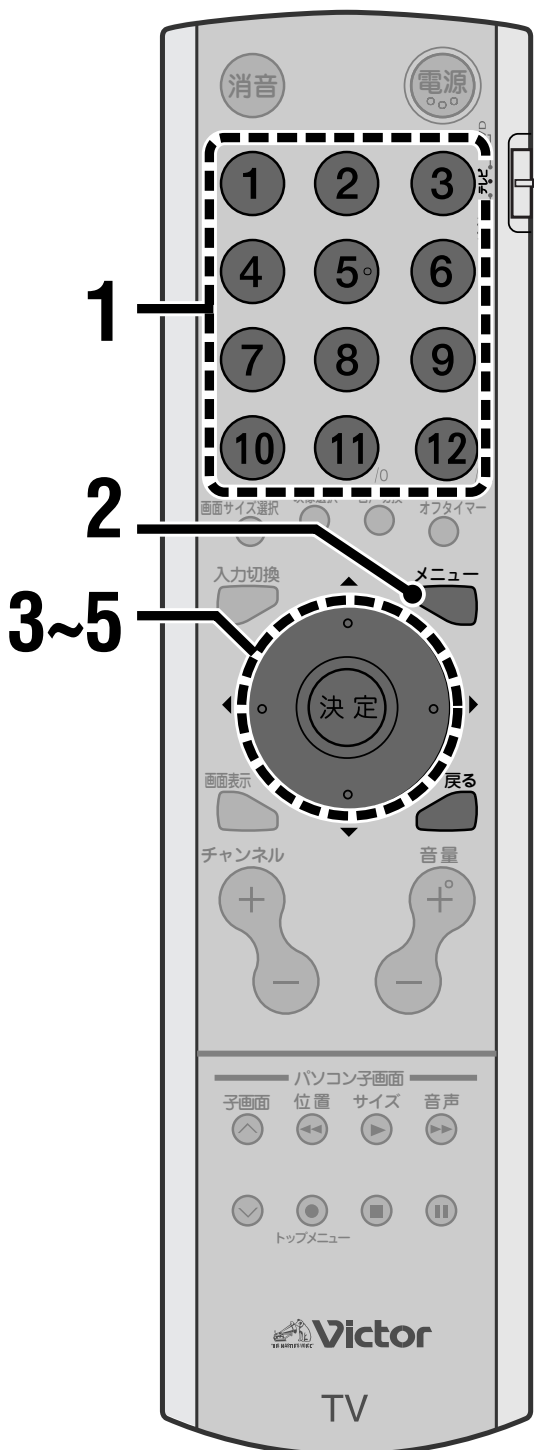
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

省エネ設定をする

無操作のときに電源を切る

何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 チャンネル数字ボタンを押して地上アナログ放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す

「各種設定」メニューが表示されます。

各種設定	
▶ブルーバック	入り
テレビ消し忘れ防止	しない
無信号オートオフ	しない
▼▲で選択 戻るでメニューへ	◀▶で設定

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「テレビ消し忘れ防止」を選ぶ

する

何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

しない

この機能は働きません。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

メニューを消すには

メニューボタンを押す

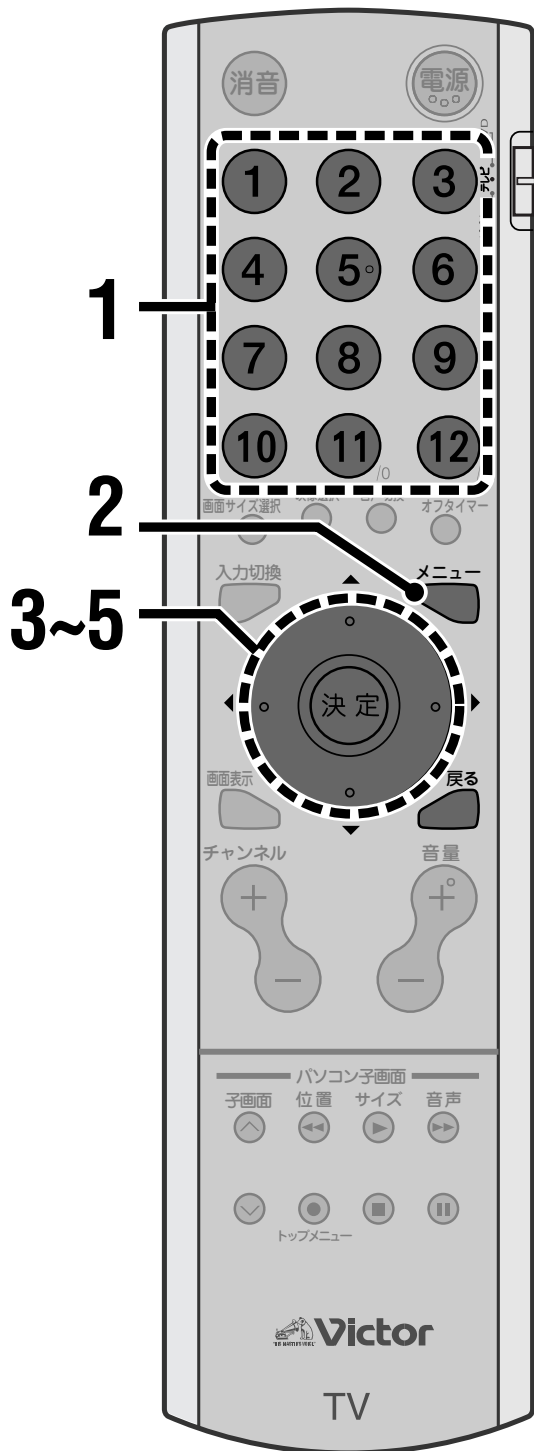
設定を途中でやり直すには

戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

無信号のときに電源を切る

放送終了後やビデオの再生終了後、約5分経過すると自動的に電源を切る機能です。

1 チャンネル数字ボタンを押して地上アナログ放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す

「各種設定」メニューが表示されます。

各種設定	
▶ブルーバック	入り
テレビ消し忘れ防止	しない
無信号オートオフ	しない
▼▲で選択 戻るでメニューへ	◀▶で設定

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「無信号オートオフ」を選ぶ

する

放送終了後やビデオ再生の終了後、約5分経過すると、自動的に電源が切れます。

しない

この機能は働きません。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

メニューを消すには

メニューボタンを押す

設定を途中でやり直すには

戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

他の機器をつなぐ

接続できる機器

本体後面の端子と、接続できる機器の一例です。詳しい接続の説明は、各ページをご覧ください。

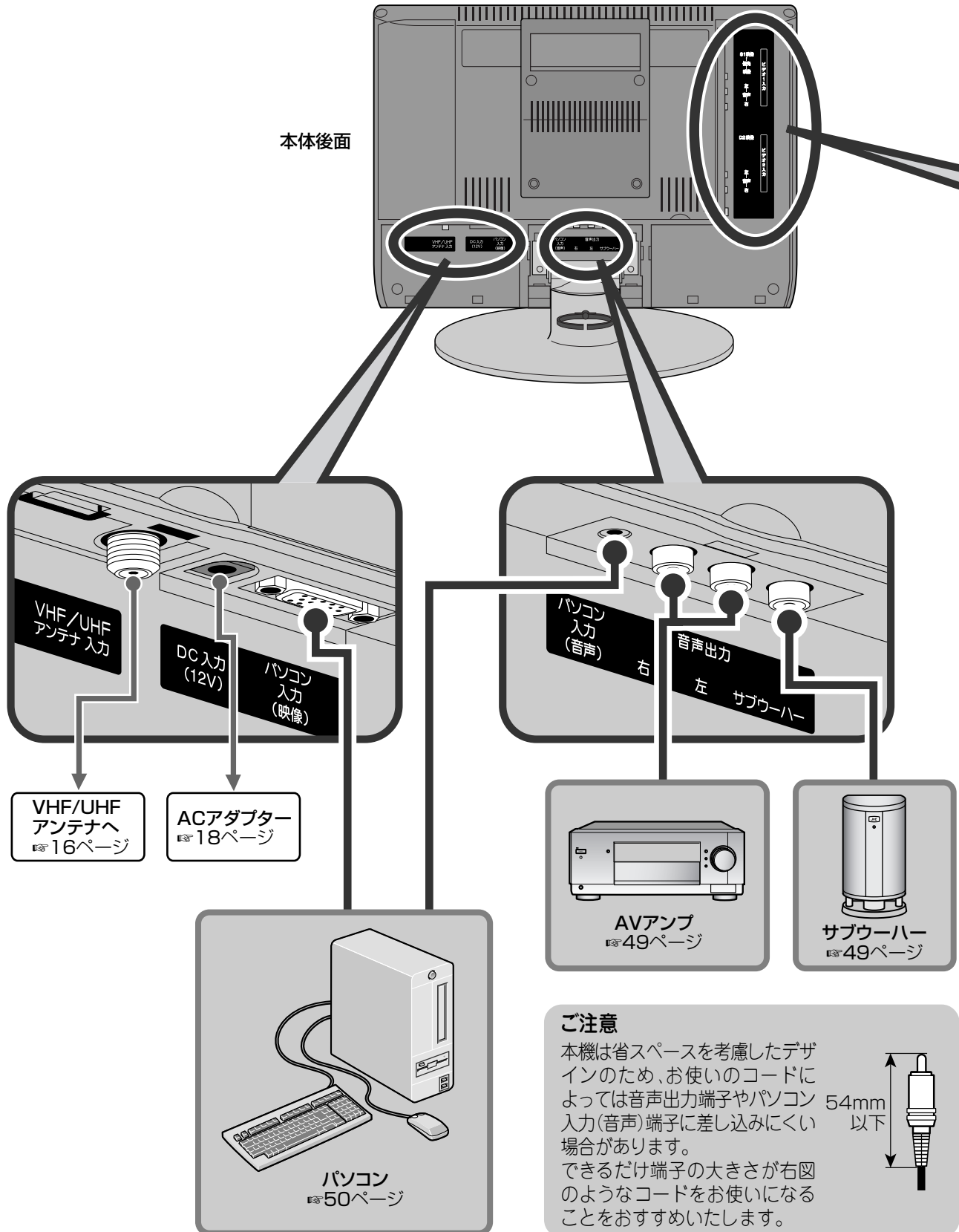
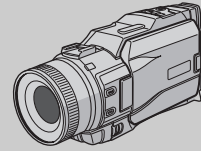
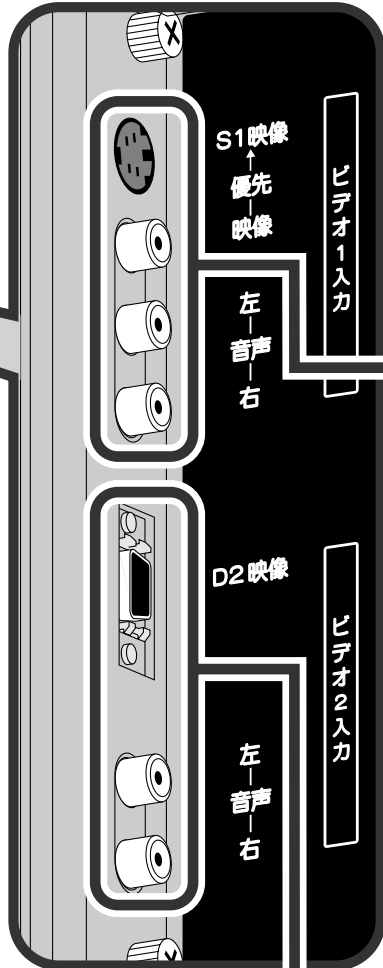
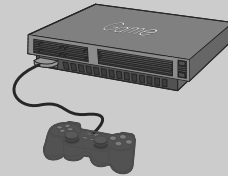
お知らせ

- お手持ちの機器にＳ映像出力端子があるときは、Ｓ映像コードで接続することをおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。
- Ｓ１映像入力端子と映像入力端子が同時に接続されているときは、Ｓ１映像入力端子の信号が優先されます。
- お手持ちの機器にD映像出力があるときは、D映像コードで接続することをおすすめします。Ｓ映像端子や映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。

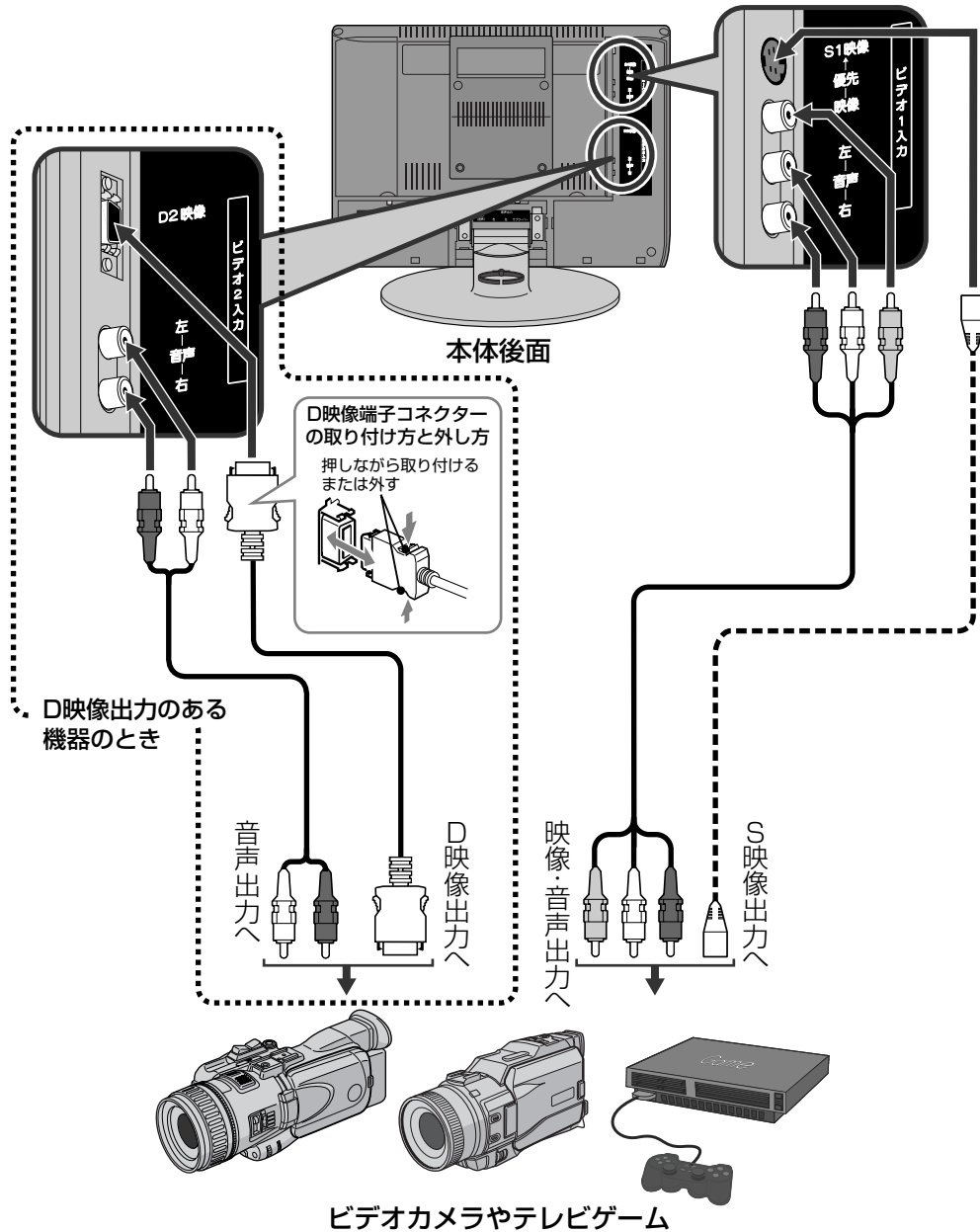
ご注意

本機は省スペースを考慮したデザインのため、お使いのコードによっては音声出力端子やパソコン入力(音声)端子に差し込みにくい場合があります。
できるだけ端子の大きさが右図のようなコードをお使いになることをおすすめいたします。

54mm
以下

ご注意

- **接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。**
- コードをつなぐときは、カバーを外してください。(☞15ページ)
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 接続コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。
- 他の機器の映像をご覧のとき、画面にノイズ(たて線など)が出るときは、コードをとおしてノイズが入っていることが考えられます。シールドのしっかりしたコードに交換したり、コードの位置をかえて、ノイズが少なくなるようにしてください。

ビデオカメラやテレビゲームをつなぐ

お知らせ

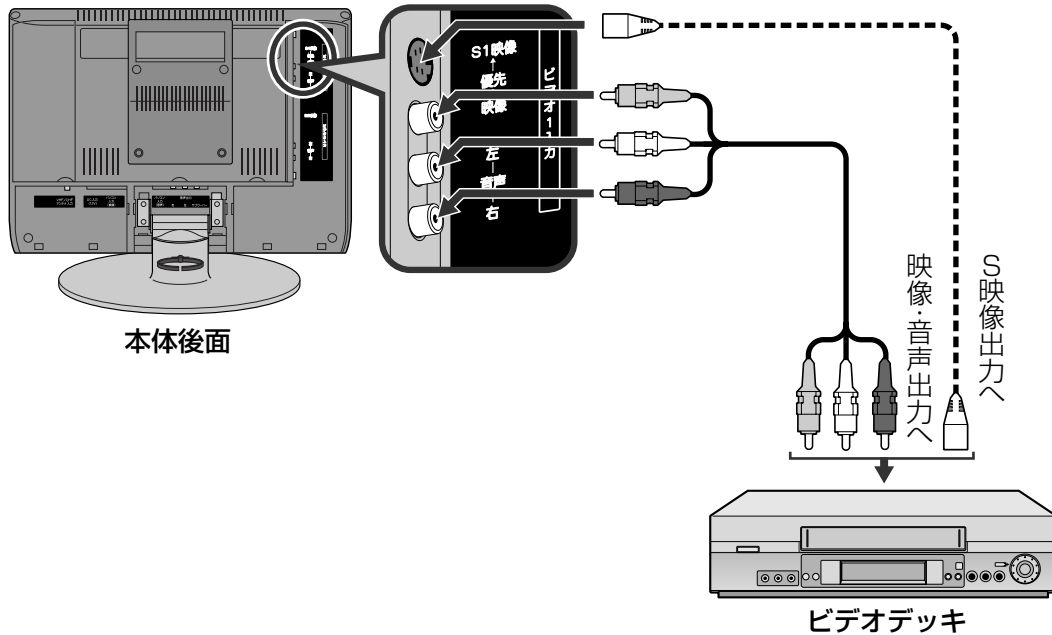
- ビデオカメラやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、ビデオカメラやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
- D映像出力端子があるときは、D映像コードで接続することをおすすめします。S映像端子や映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。

ビデオカメラやテレビゲーム

ビデオカメラやテレビゲームを楽しむ

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」または「ビデオ2」に切り換える

ビデオデッキをつなぐ

お知らせ

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機に接続します。「準備する・3 アンテナをつなぐ」の「ビデオデッキをつなぐとき」(☞17ページ)をご覧ください。
- D-VHSビデオデッキなどD映像出力端子のある機器を接続するときは、D映像コードと音声コードでビデオ2入力端子に接続してください。

ビデオを見る

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」に切り換える

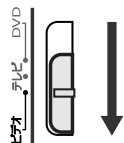
ビクター製ビデオデッキをお使いの時は

本機のリモコンでビクター製ビデオデッキの基本操作ができます。

ご注意

- 操作できるのはビクター製のビデオデッキのみです。
- お使いのビデオデッキによっては操作できない場合があります。
- 本機のリモコンコードは「Aコード」のみです。

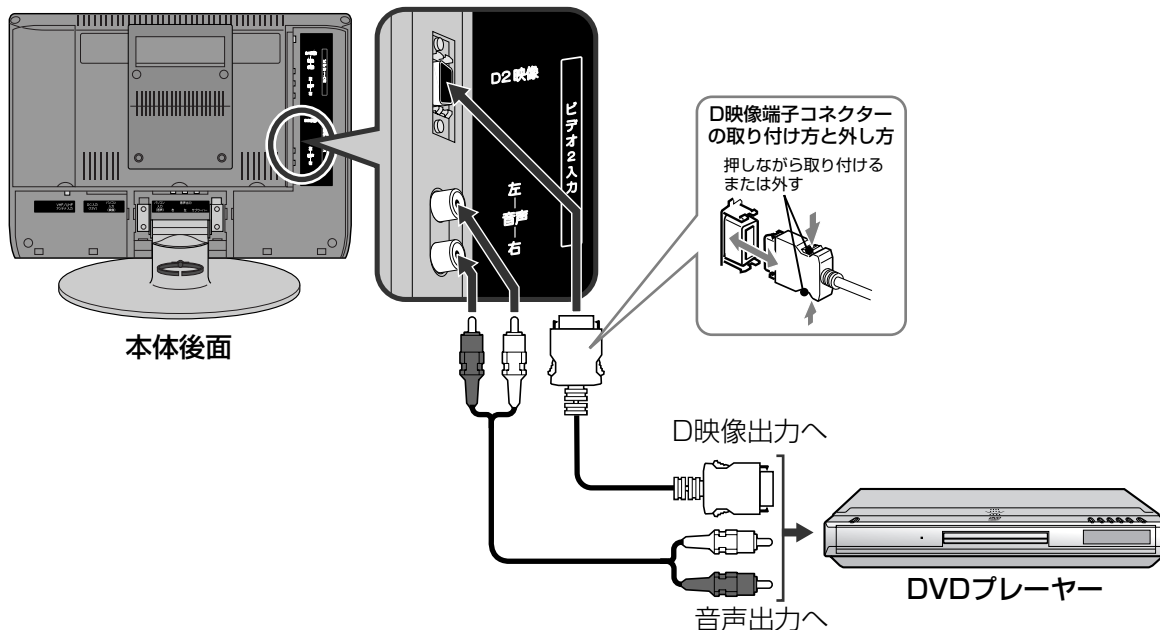
1 ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチを「ビデオ」に切り換える

DVD
テレビ
ビデオ

2 ビデオ/DVD操作ボタンを押して操作する

- 録画を開始するには、●(録画)ボタンを押しながら▶(再生)ボタンを押します。
- 録画一時停止中の状態にするには、●(録画)ボタンを押しながら❚❚(一時停止)ボタンを押します。
- 本機のリモコンの電源ボタンで、ビデオデッキの電源を「入/切」することもできます。
- 操作のしかたについてはビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

3 操作が終わったら、ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチを「テレビ」に切り換える

DVDプレーヤーをつなぐ

お知らせ
- DVDプレーヤーの映像出力がコンポーネント映像端子のときは、片端がコンポーネント映像端子のコード(VX-DS210など)をお使いください。
- DVDプレーヤーにD映像出力端子やコンポーネント映像出力端子がないときは、映像・音声コードでビデオ1入力に接続してください。

接続が終わったら

DVDプレーヤー側で、TV画面サイズの設定をワイド画面(画面サイズ16:9)用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

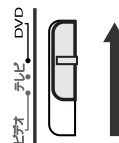
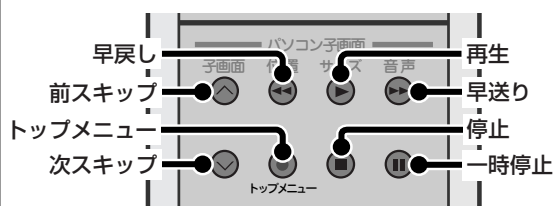
DVDを見る

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ2」に切り換える

ビクター製DVDプレーヤーをお使いの時は

本機のリモコンでビクター製DVDプレーヤーの基本操作ができます。

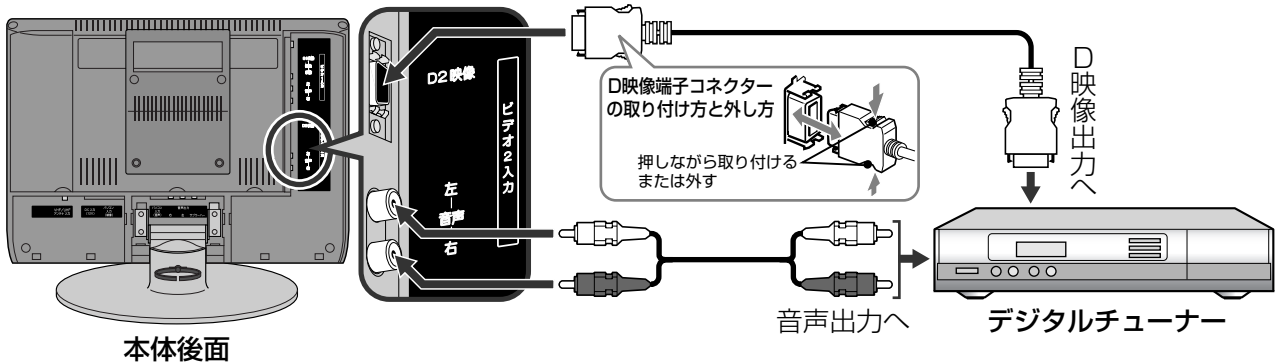
ご注意
- 操作できるのはビクター製のDVDプレーヤーのみです。
- お使いのDVDプレーヤーによっては操作できない場合があります。
- 本機のリモコンコードは「DVD1」のみです。

1 ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチを「DVD」に切り換える

2 ビデオ/DVD操作ボタンを押して操作する

- 次のボタンでも、DVDプレーヤーを操作できます。電源、メニュー、カーソル(◀▶▲▼)、決定、戻る
- 操作のしかたについてはDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

3 操作が終わったら、ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチを「テレビ」に切り換える

デジタルチューナーをつなぐ

お知らせ

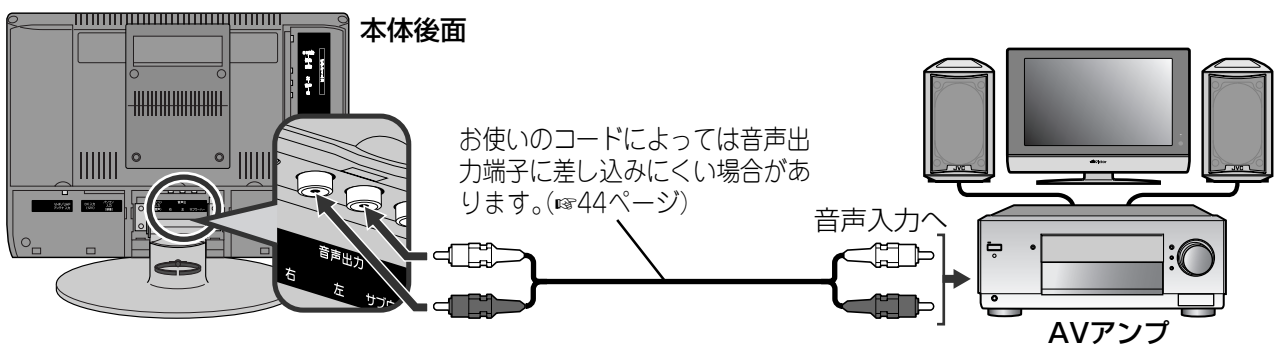
- デジタルチューナー側のテレビの設定は「ワイド」にしてください。
- 本機のD映像入力端子はD2映像端子です。デジタルチューナー側でD映像端子からの出力信号を、本機に合わせて設定してください。

デジタル放送を見る

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ2」に切り換える

アンプをつなぐ

本機の音声出力端子(固定)をアンプにつないでお楽しみになれます。

お知らせ

- 本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。
- 本機の音声出力端子から出力される音声は、「音声調節」メニューの「高音」「低音」「バランス」設定と連動しています。設定を変更すると、アンプを通して聞こえる音声にも影響します。

サブウーハーをつなぐ

サブウーハーをつなぐと、より豊かな重低音をお楽しみになれます。

ご注意

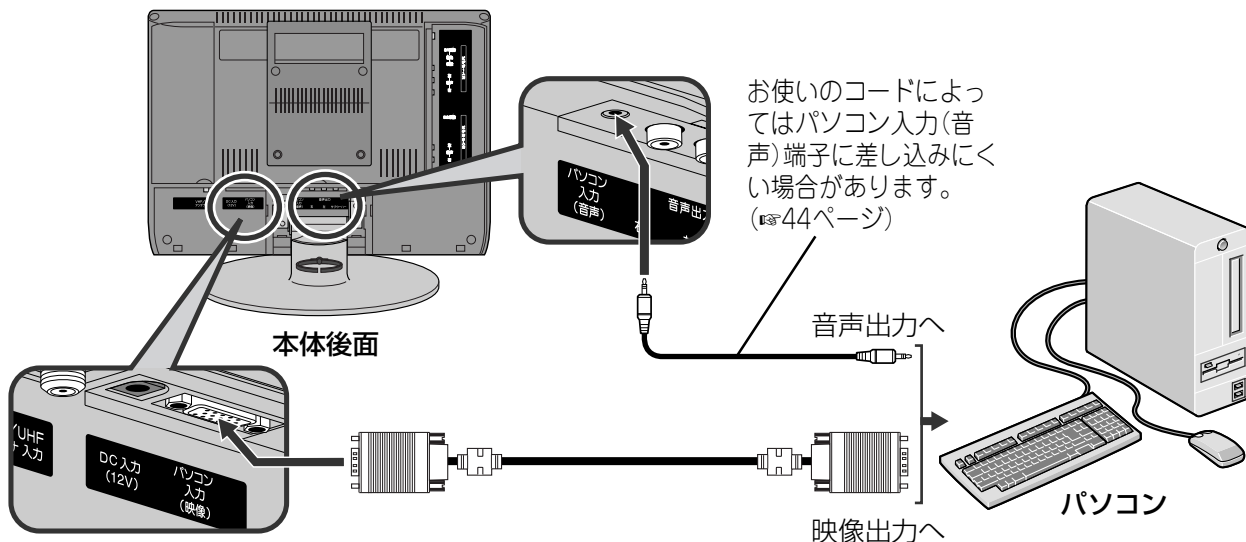
- サブウーハー端子からの出力は可変です。本機の音量調節と連動します。
- サブウーハーとアンプを同時に接続することはできません。

パソコンをつなぐ

パソコンをつなぐ

本機はW-XGA*(1280x768)対応の高精細液晶パネルを生かして、パソコンの映像を楽しむことができます。(*用語解説☞59ページ)

お知らせ

「パソコン映像の位置を調節する」(☞51ページ)をご覧になって、映像の位置調節を行ってください。

パソコンをつなぐときは

パソコン入力(映像)端子は、次の信号に対応しています。あらかじめ、パソコンの画面解像度の調節を行ってください。

(○:対応、×:非対応)

出力モード 解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	LT-17LA5	LT-23LA5
VGA 70 640x350	31.469	70.087	×	○
VGA 60 640x480	31.469	59.941	○	○
SVGA 56 800x600	35.16	56.25	○	○
SVGA 60 800x600	37.879	60.317	○	○
XGA 60 1024x768	48.363	60.004	○	○
XGA 70 1024x768	56.476	70.069	×	○
MAC VGA 640x480	35.0	66.667	×	○
US TEXT 720x400	31.469	70.087	×	○
WXGA 1280x768	47.73	60	○	○

お知らせ

- 上記の画素数および周波数の数値は目安です。実際の表示とは異なる場合があります。
- 現在の入力信号を確認するには、パソコン入力を表示中にメニューボタンを押します。パソコンメニューの下側に解像度と垂直周波数が表示されます。

パソコンを見る

入力切換ボタンをくり返し押して「パソコン」を選ぶ

お知らせ

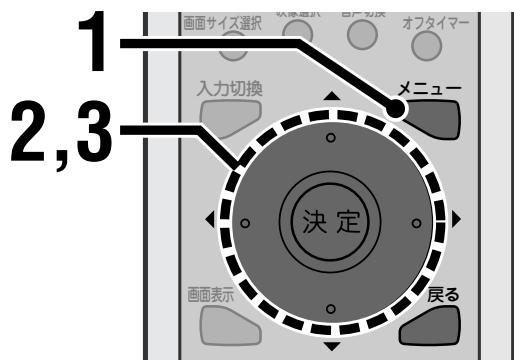
パソコンの映像を表示中に、子画面を表示してテレビを見ることができます。(☞53ページ)

ご注意

パソコン入力を表示中は次のようになります。

- パソコンメニューのみ設定できます。通常のメニューは表示されません。(音声調節は通常のメニューと同じです。☞37ページ)
- パソコンから映像信号が入力されていないときは、電源ランプが橙色に点灯します。

パソコン映像の位置を調節する

パソコン映像の位置を自動で調節できます。また、調節項目を個別に設定することもできます。

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 パソコン入力を表示中に、メニューボタンを押す

パソコンメニューが表示されます。

パソコン　メニュー	
▶**映像位置調節** パソコン　映像調節 音声調節	
▼▲で選択 戻るで終了	決定で位置調節
解像度 垂直周波数	1280 X 768 60 Hz

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「映像位置調節」を選び、決定ボタンを押す

映像位置調節
▶**自動位置調節**
水平位置
垂直位置
ドットクロック
クロックフェーズ
標準
▼▲で選択　◀▶で設定
戻るでパソコンメニューへ

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「自動位置調節」を選び、カーソルボタン(◀▶)を押す

自動で映像の位置を調節します。調節が終了すると、「自動位置調節」の右に「終了」と表示されます。

- 通常は「自動位置調節」のみで適切に調節されます。
  自動で位置がうまく調節できないときは、下記の「自動位置調節がうまくいかないときは」をご覧ください。

メニューを消すには
メニューボタンを押す

自動位置調節がうまくいかないときは

1. **パソコン入力を表示中に、メニューボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「パソコン映像位置調節」を選び、決定ボタンを押す**
3. **カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい調節項目を選ぶ**

   水平位置
   映像の水平位置を調節します。

   垂直位置
   映像の垂直位置を調節します。

   ドットクロック
   最も映像がきれいに映るように調整します。

   クロックフェーズ
   最も映像がきれいに映るように調整します。
4. **カーソルボタン(◀▶)を押して調節する**
   - 「ドットクロック」または「クロックフェーズ」を調節するときは、調節画面が表示されます。
5. **他の項目も変更するときは、手順3と手順4をくり返す**
   - 「ドットクロック」または「クロックフェーズ」を調節したときは、戻るボタンを押してから手順3と手順4をくり返します。
   - お買い上げの時の設定に戻すには手順3で「標準」を選び、カーソルボタン(◀▶)ボタンを押します。
6. **メニューボタンを押して終了する**

パソコン映像の画質を調節する

パソコン映像の画質をお好みに合わせて調節できます。

設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ
約1分間操作を行わないとメニューが消えます。

1 パソコン入力を表示中に、メニューボタンを押す

パソコンメニューが表示されます。

パソコン　メニュー	
▶**映像位置調節** パソコン　映像調節 音声調節	
▼▲で選択 戻るで終了	決定で位置調節
解像度 垂直周波数	1280 X 768 60 Hz

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「パソコン映像調節」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい調節項目を選ぶ

コントラスト
映像のメリハリを調節します。

黒レベル
見やすい明るさに調節します。

白バランス
画面全体の色調を選びます。
高：　標準
低：　赤みが強くなる
お好み：「R」、「G」、「B」をお好みで調節できます。

R*
映像の赤色成分を調節します。

G*
映像の緑色成分を調節します。

B*
映像の青色成分を調節します。

*「白バランス」が「お好み」のときのみ調節できます。

4 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

調節画面が表示されます。

例:「コントラスト」を選んだとき

- 「白バランス」を調節するときは、調節画面は表示されません。

5 他の項目も調節するときは戻るボタンを押し、手順3と手順4をくり返す

- 「白バランス」の調節後に他の項目を調節するときは、手順3と手順4をくり返します。

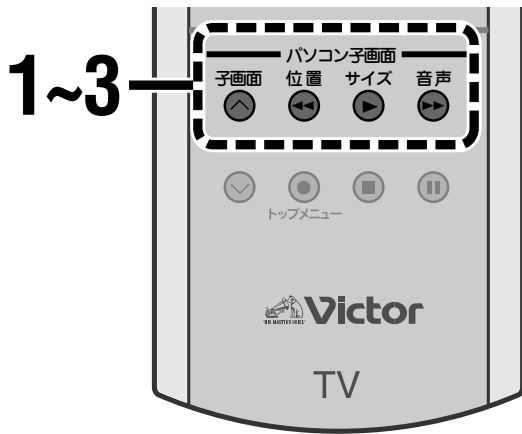
メニューを消すには
メニューボタンを押す

お買い上げの時の設定に戻すには

手順3で「標準」を選び、カーソルボタン（◀▶）ボタンを押します。

パソコンとテレビを同時に見る

パソコンの映像を表示中に、テレビやビデオ入力の映像を子画面で表示できます。

ご注意
パソコンが接続されていない場合やパソコンから信号が入力されていない場合、テレビやビデオ入力を視聴中に子画面ボタンを押すと、「パソコンケーブルが接続されていません」と画面に表示され、電源ランプが橙色に点灯します。（しばらくすると画面には何も映らなくなります。）このようなときは、入力切換ボタンやチャンネル数字ボタンを押して、テレビまたはビデオ入力に切り換えてください。

1 子画面ボタンを押す

パソコン入力に切り換わり、見ていた映像が子画面で表示されます。

- パソコン入力を表示中に子画面ボタンを押した場合は、テレビまたはビデオ入力の映像が子画面で表示されます。

2 子画面を操作する

パソコン子画面ボタンを使って、次の操作が行えます。

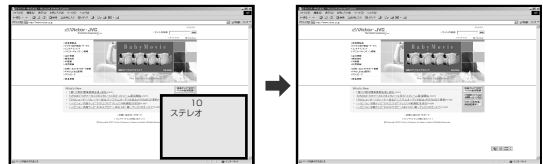
子画面の位置を変える：
位置ボタンを押します。
押すたびに、画面の右下→左下→左上→右上の順で、子画面の位置が変わります。

子画面の大きさを変える：
サイズボタンを押します。
押すたびに子画面の大きさが2段階で切り換わります。

パソコンと子画面の音声を切り換える：
音声ボタンを押します。
押すたびに子画面の音声（子音声）とパソコンの音声（親音声）が切り換わります。

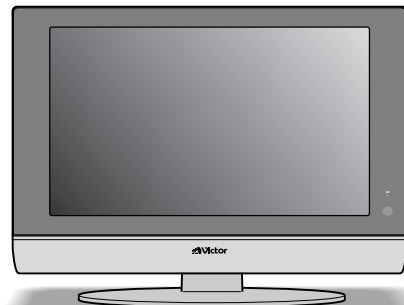
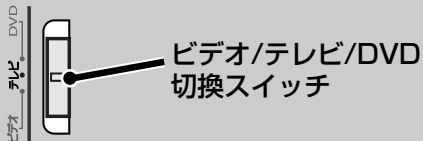
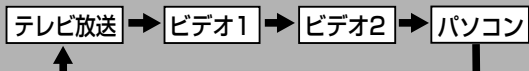
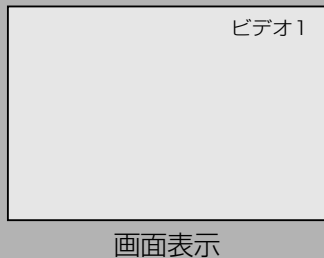
3 子画面ボタンを押す

子画面で見ていた映像が、1画面で表示されます。

- あらかじめパソコン入力に切り換えた状態で子画面ボタンを押して子画面を表示していた場合は、パソコン入力は変わらずに、子画面が消えます。

お知らせ
- 子画面での選局や入力切換、音量調節は、通常の画面でテレビを見ているときと同じように行えます。
- 子画面で二重音声放送やステレオ放送の番組を見ているときは、音声切換ボタンで音声を切り換えられます。（子音声を出力しているとき）

ご注意
- 親画面の入力を切り換えるには、子画面ボタンを押して子画面を消してから行ってください。
- 子画面の映像調節や音声調節はパソコンメニューで行います。
- パソコン入力の映像を子画面で表示することはできません。
- 子画面ではプログレッシブ（525p）の映像を表示することはできません。

つないだ機器の映像を見る

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

こまったときは

故障かな?と思ったら－症状とその原因と対処方法

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは故障ではありません

本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

- ディスプレイパネルに手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはディスプレイパネルが静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 本体の天面や背面の一部は温度が高くなっておりますが、品質、性能には異常はありません。
- ACアダプターを使用中、ACアダプターの表面が熱くなりますが、品質、性能には異常はありません。
- 部屋の温度変化により、本機から「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
●電源が入らない ●リモコンで操作できない	■ 電源プラグがはずれていませんか？(☞18ページ) ■ 電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(☞18ページ) ■ ビデオ/テレビ/DVD切換スイッチの位置は正しいですか？本機を操作するときは「テレビ」の位置に切り換えてください。(☞30、54ページ)
●正常に動作しない ●本体もリモコンも操作できなくなった	■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、一度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。
●地上アナログ放送が映らない	■ アンテナは正しく接続されていますか？(☞15～17ページ) ■ チャンネル設定は済んでいますか？(☞19、25ページ) ■ チャンネルスキップが設定されていませんか？(☞25、28ページ)
●CATVが映らない	■ 受信契約はお済みですか？ ■ ケーブルは正しく接続されていますか？ ■ チャンネルスキップが設定されていませんか？(☞25、28ページ) ■ CATVのチャンネル(C13～C63)がチャンネル＋/－ボタンで選べないときは、「CATVダイレクト選局」の設定を「入り」にしてください。(☞27ページ)
●メニューの項目が表示されない	■ ビデオ入力を表示中は「初期設定」メニューを表示できません。「初期設定」メニューを表示するには、あらかじめテレビ放送に切り換えてから、メニューを表示させてください。 ■ パソコンメニューを表示するには、あらかじめパソコン入力に切り換えてからメニューを表示させてください。

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■「CATVダイレクト選局」が「入り」に設定されているときは、地上アナログ放送のチャンネル選局も2 桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、「CATVダイレクト選局」を「切り」にしてください。(☞27ページ)
●接続した機器からの映像、音声が出ない	■ 機器は正しく接続されていますか。(☞46～50ページ) ■ 正しい外部入力を選んでいますか。(☞54ページ) ■ 機器の電源は入っていますか。 ■ パソコンから出力される映像信号の設定は正しいですか？(☞50ページ)
●映像が乱れる	■ 本機の近くで携帯電話を使用していませんか？2m以上離れて使用してください。
●色が出ない、おかしい	■ 色あいや色の濃さの調節がズレていませんか？映像調節をやり直してください。(☞35、52ページ) ■ 受信周波数がズレていませんか？「チャンネル設定変更」で「ファイン調整」をしてみてください。(☞26、28ページ)
●音が出ない	■ ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか？ ■ 消音ボタンを押していませんか？(☞30ページ)
●音声が重なって聞こえる	■ 二重音声放送の音声が「主＋副音声」になっていませんか？(☞36ページ)
●音声が切り換えられない	■ モノラル放送やステレオ放送ではありませんか？(☞36ページ)
●電源を切っているのに本体があたたかい	■ 電源を切っていても、一部の電気回路は動作しています。故障ではありません。
●突然電源が切れた	■ オフタイマーを設定していませんか？(☞32ページ) ■ テレビ消し忘れ防止を設定していませんか？(☞41ページ) ■ 放送終了後に電源が切れたときは、無信号オートオフ機能が働いたためです。(☞42ページ)
●テレビ上部や液晶パネル面の温度が高い	■ 性能品質上は問題ありません。本体の通風口をふさがないようご注意ください。
●映像が不安定なとき一瞬画面が白くなる	■ 液晶を駆動するための信号が欠落したときなどに発生します。故障ではありません。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

●雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る	■ アンテナは正しく接続されていますか。 ■ 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ■ アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
●画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)	■ ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
●画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)	■ 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなメッセージが出たら

以下のメッセージが表示されたときは、原因欄をご確認いただいて、正しく操作または設定してください。

画面メッセージ	原因
まもなく電源が切れます	• テレビ消し忘れ防止機能を設定した状態で何も操作しない状態が3時間続き、電源が切れる3分前のとき。(何かのボタンが押されるかまたは電源が切れるまでメッセージは消えません。)(☞41ページ) • 無信号オートオフが働く3分前のとき。(無信号でなくなるまでメッセージは消えません。)(☞42ページ)
パソコン信号がありません	パソコン入力を選択中、パソコンから信号が送られていないとき。
パソコンケーブルが接続されていません	• パソコン入力を選択中、パソコンが接続されていないとき。 • パソコンが接続されていないときやパソコンから信号が送られていないときに、子画面ボタンを押したとき(☞53ページ)
この信号には対応していません	SXGAやQXGAなど、対応していない映像信号が入力されているとき。

用語解説

BSデジタルチューナー
(ビーエス)
現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器。

BSデジタル放送
(ビーエス)
2000年12月から開始された、すべてデジタル方式のBS放送。BSテレビ放送･BSラジオ放送･BSデータ放送があります。

BSテレビ放送
(ビーエス)
BSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送がある。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

CSテレビ放送
(シーエス)
CSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送があります。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

D2映像端子
(ディー)
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機（D2）ではプログレッシブ(525p)･従来の信号(525i) が扱えます。
対応信号は下記の通りです。

	映像信号フォーマット			
対応する映像出力	1125i	750p	525p	525i
D4	○	○	○	○
D3	○	―	○	○
D2	―	―	○	○
D1	―	―	―	○

S1映像信号
(エス)
S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが 16:9のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

S映像信号
(エス)
映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

XGA　（eXtended Graphics Array）
(エックスジーエー　エクステンデッド　グラフィックス　アレイ)
VGA（640×480 ドット）をさらに拡張したグラフィックスの表示規格で、1024×768 ドットの解像度を実現します。

W-XGA　（Wide XGA）
(ダブリューエックスジーエー　ワイド)
XGA（1024×768ドット）の横幅を広げたグラフィックスの表示規格で、1280×768 ドットの解像度を実現します。

110度CSデジタルチューナー
現行のハイビジョンテレビやBSまたはCS受信機で110度CSデジタル放送を見るときに接続する機器。

110度CSデジタル放送
CSデジタル放送の中でも特に、東経110度に打ち上げられた新衛星からの放送。2002年3月より放送開始されました。

525i/525p/1125i/750p/1125p
デジタル放送の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称。(数字は走査線数、「i」は「インターレース」、「p」は「プログレッシブ」を表します。)

インターレース
従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を通すと、映像として見えるように開発された表示素子。環境に配慮した低消費電力で動作します。

ゴースト
放送局からの電波が地上波アンテナに届く前に、建物や地形に反射することで主電波より遅れて届き2重3重の映像になることです。

コンポーネント映像端子
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（C_b/P_b、C_r/P_r）の3つのコンポーネント（構成要素）に分離して伝送する接続方法です。
コンポーネント映像端子は３つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントコード）を用います。
通常の映像端子に比べ、色のキレがよく、ちらつきのない画質が得られます。

受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

デジタルチューナー
デジタル放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）を受信するときに接続する機器。

デジタルピュア（Digital pure）
高画質を実現する「受信チューナー･映像を処理するデジタル回路･ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

プログレッシブ(750p、525p)
一度にすべての走査線で表示（インターレースではその半分）しているため、従来より高精細な映像方式。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は液晶テレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。(☞61、62ページ)

修理を依頼されるときは

56～58ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクター液晶ワイドテレビ
型　名	LT-23LA5/LT-17LA5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	(　　)　　ー

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　**●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

➡

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

サービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0404

サービス窓口案内（つづき）

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0742)35-0935	630-8115	奈良市大宮町六丁目3-10 藤本ビル1階
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	ﾒﾝﾃﾅﾝｽｾﾝﾀｰ	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0820	大分市西大道三丁目1番1号
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
山陰ビクター販売（株）				
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

索　引

主な仕様

システム

●受信方式	NTSC（VHF/UHF/CATV）
●受信チャンネル	VHF 1～12、UHF 13～62 CATV C13～C63
●画面寸法（幅X高さX対角） LT-23LA5： 50.2 cm x 30.1 cm x 58.5 cm LT-17LA5： 37.3 cm x 22.4 cm x 43.4 cm	
●表示画素数	水平：1280 垂直：768
●スピーカー	5.4 cm丸形、2個
●音声出力 LT-23LA5： 5 W＋5 W LT-17LA5： 3 W＋3 W	

入出力端子

●アンテナ端子	VHF/UHF：75 Ω、F型
●ビデオ1入力端子 S1映像(S映像)： 映像： 音声：	 Y： 1V(p-p)、75 Ω、同期負 C： 0.286V(p-p)（バースト信号）、75 Ω 1V(p-p)、75 Ω、同期負 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
●ビデオ2入力端子 D映像： 音声：	 D2映像 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
●パソコン入力端子 映像： 音声：	 D-SUB 15pin（RGB） 直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
●音声出力端子 音声： サブウーハー：	 0.5V(rms)、ローインピーダンス 1V(rms)、ローインピーダンス
●ヘッドホン端子	直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

電源部・その他

●使用電源 LT-23LA5： LT-17LA5： ACアダプター：AC100 V、50 Hz/60 Hz	 DC24 V DC12 V
●消費電力 LT-23LA5： LT-17LA5：	 110 W（待機時 0.95 W） 60 W（待機時 0.95 W）
●質量（重さ） LT-23LA5： LT-17LA5：	 9.8 kg（本体7.8 kg+スタンド2.0 kg） 7.3 kg（本体6.1 kg+スタンド1.2 kg）
●付属品	14ページ参照
●別売品	アンテナ混合器： VZ-84

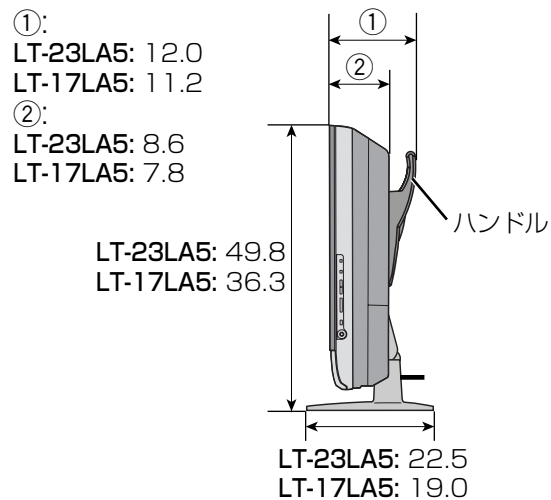
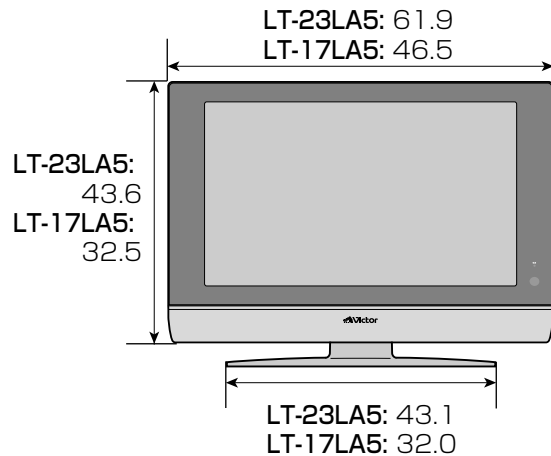
外形寸法

• イラストはLT-17LA5を使用しています。
• 単位はセンチメートル（cm）です。

①:
LT-23LA5: 12.0
LT-17LA5: 11.2
②:
LT-23LA5: 8.6
LT-17LA5: 7.8

ハンドル

LT-23LA5: 49.8
LT-17LA5: 36.3

LT-23LA5: 22.5
LT-17LA5: 19.0

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ テレビのV型（23V型、17V型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ LT-23LA5は「JIS C61000-3-2適合品」です。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
61、62ページをご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (03) 5684−9311 FAX (03) 5684−9317 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0404HHH-MW-TU